

### 3 看護研究発表会

#### (1) 事例研究発表会

ア 第21回院内発表会 1日目 平成31年2月17日

講師 川崎市立看護短期大学

発表者	所属	テーマ
峰脇 咲	8S	死産を経験した母親との関わりを振り返って
清水 美咲	8N	児を亡くした母親との関わりを通して学んだこと
青木 萌恵	8W	誤嚥がある早産児への関わりを通して学んだこと
加藤 真弓	8W	NICU/GCUにおける母乳分泌を維持・増加するための関わり ～早産・低出生体重児の母への母乳育児支援～
吉村 愛理	13S	失語症のある患者とのコミュニケーション ～どのようにすれば患者の思いが伝わるのか～
中村 咲沙	8S	ネフローゼ症候群で入院した患児の看護の振り返り ～思春期にある患児に合わせた看護のあり方～
藤原 奏絵	13S	がん患者との関わりで学んだこと ～看護師のコミュニケーション能力向上のために必要なこと
佐味 風鈴	11S	癌の終末期にある患者支援のあり方 ～患者との関わりから学んだこと～
松井 七重	11S	終末期患者に対する急性期病棟での関わり方 ～患者の希望に寄り添う看護を合わせて振り返る～
川崎 春菜	11S	看護診断を通して行うケアの必要性について ～排泄アセスメントとケアを通して～
寺澤 優希	9S	四肢麻痺となった患者とのコミュニケーションのあり方 ～A氏との関わりを通しての考察～
河野 美友紀	9S	意識障害がある患者のせん妄対策と予防 ～せん妄患者の抑制と対応を通して～
村石 健二	11N	胃切除術後患者の食事指導における効果的な関わり ～2つの事例を通して、自らの看護を振り返る～
太田 愛琳	12S	脳卒中患者との関わりを振り返る ～意識障害のある患者が離床することで生じる変化の視点から
矢萩 宏樹	12S	夜間不穏状態の患者に効果が得られた生活リズムを整える介入方法
小島 紗季	11N	アルツハイマー型認知症患者へのストーマ指導から学んだこと ～在宅療養を目指した退院支援を行って～
大川 朝美	11N	ストーマ造設患者に対する器具交換手技の指導 ～患者の自己効力感を高める指導とは～
小路 楓	13S	認知症患者との関わりを通して学んだこと ～易怒性出現時の対応について～

イ 第21回院内発表会 2日目 平成31年2月23日

講師 神奈川県立保健福祉大学

発表者	所属	テーマ
尾寄 芹奈	14N	苦痛からせん妄状態を生じた患者との関わりを通して学んだこと ～終末期患者の看護を振り返って～
野元 美里	14N	高次脳機能障害のある患者への関わりを通して学んだこと ～失語と易怒性があり思いが十分に伝えられない患者への外 泊指導を行って～
野瀬 大貴	14N	内科病棟における男性看護師の看護ケアについて考える ～患者に観察を拒否された場面から学んだこと～
大坂 明日香	12N	ウロストミー造設患者へ自己効力感を高める看護を通して学んだ こと
谷口 真紀	14S	患者との関わりにおいて生じた否定的感情からの離脱 ～先輩看護師との対話による気づき～
中村 有希	14S	ライフレビューを用いた患者の希望を支える看護 ～突然下肢麻痺が出現した終末期がん患者の関わりを通して 学んだこと～
森脇 絵理	10S	流産のため子宮内容除去術を行う患者に対する関わりについて
水本 りんご	10S	死産分娩を行なう患者への関わり ～患者の悲嘆過程に沿った看護について～

(2) 看護研究発表会

ア 第73回院内発表会 平成31年1月26日(土) 9:00～14:20

講師: 武蔵野大学 香春 知永

	所属	テーマ	研究者
1	ICU・CCU	クリティカルケア領域における早期栄養に対する スタッフの意識と行動の変化	○福永 歩実 高橋 貴子 岩見 裕司 佐久間 祐樹 大松 玲奈
2	手術室	ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術 (RALP) に おける背部皮膚損傷予防への取り組み ～白色ワ セリンとプリアフィックス®を使用して～	○今 はるな 小川 千晶 元 麻李 久野 昭子
3	外来	外来における情報共有の強化 ～外来化学療法を受ける患者の看護支援連携方 法を見出す～	○渡邊 恭子 栗田 勝子 成田 貴子
4	8N	分娩アウトカムと出産体験との関連	○新田 優子
5	8W/8S	NICUから小児病棟を経由した児の退院支援にお ける看護師の意識とその背景 ～病棟連携の現状と課題を探る～	○白田 美奈子 (8W) 吉川 紀子 (8W) 佐竹 仁美 (8S) 原田 直子 (8S)

6	8W	早産児を出産した母親の母乳分泌維持に影響する要因	○折見 由利子 小島 希 竹田 佐弥香 中宗 磨知子 鶴巻元子
7	9S	早期離床に対する多職種連携による救命センター看護師のリハビリテーション実践変化	○野口 杏実 近藤 志津 森 怜奈 青木 夏代 大沼 香純 上田 美紀
8	11S	外科病棟における褥瘡発生の要因分析	○河崎 由姫 田尻 明日実 武田 明日香 長田 さやか
9	11N	看護師と看護補助者の協働における課題	○櫻井 麻美 櫻井 泰誠 中久 泰樹 佐藤 裕香
10	副主任会	始業開始前時間外に関する実態および意識調査 ～始業開始前の時間外短縮に向けて～	○根岸 愛 (12N) 中里 亜紀子 (12S)
11	12N	A病棟における身体抑制の実態	○渡邊 いづみ 柳田 杏奈 菅野 久乃 大友 静香
12	13N	眼に対する感染予防対策における意識調査	○本多 小百合
13	9S	緊急度判定支援システム導入後の院内トリアージの整合性と今後の課題	○奈良 唯唯子 古瀬 美穂 松下 貴代子

(3) 院外看護研究派遣者

学会名	演題	発表者	日程
第49回 日本看護学会 看護教育 学術集会	屋根瓦方式による教育体制の評価 ～新人・指導者両者のインタビュー 分析から～	中村 静枝	8月16日 17日
第49回 日本看護学会 急性期看護 学術集会	ACLSを含めた急変時の看護における シミュレーション教育後の効果	高橋 貴子	9月7日 8日
第19回 日本クリニカル パス学会	救命救急センターにおけるクリニカル パス導入による効果	清水 麻紀	10月12日 13日

エンドオブライフケア 学会 第2回学術集会	終末期にある高齢者の医療選択において本人の意思表示支援に難渋した1事例	鳥海 幸恵	9月15日 16日
第57回 全国自治体 病院学会	ICU 看護師による術前オリエンテーションの患者評価	達 かおり	10月18日 19日
第57回 全国自治体 病院学会	終末期患者の気持ちに変化を与えた看護師の関わり	阿部真由美	10月18日 19日
第57回 全国自治体 病院学会	災害に関わる活動を行う看護師の活動意欲を高める介入と効果	酒向 緑	10月18日 19日
第25回 日本精神看護 専門学術集会	精神科病棟に置ける病棟ルールの機能の明確化と変遷のプロセス	吉崎 弘之	10月26日 27日
第32回 神奈川母性衛生 学会総会ならびに学 術集会	予定帝王切開分娩後の母乳栄養確立に向けて ～妊娠期からの保健指導と早期の乳頭刺激が母乳育児に与える影響	薄根 杏奈	平成31年 2月16日

#### 4 研修

##### (1) 看護部 院内研修実施状況

No.	研修名	研修内容	実施日	参加者数	会場	講師
1	新人看護職員入職ガイダンス	病院長・副院長兼看護部長講話 看護部概要・組織活動、電子カルテ基本操作 三役紹介 事務連絡自治会活動 防災、勤務管理、職員衛生職員ファイル、BLS	4月2日 (半日) 4月5日 4月6日 (各1日)	54名	7階講堂	成松院長 千島副院長 兼看護部長 庶務課 管理係 救急対策部会 教育委員会
2	新採用者研修 (技術演習)	採血・血糖測定・インスリン皮下注射・静脈注射・点滴管理・輸液ポンプ・シリンジポンプ操作・清潔操作・酸素吸入・ネブライザー・吸引・オムツ交換・体位変換ポジショニング・食事介助・経腸栄養・移動介助	4月9日、 16日、23日、 5月7日、 14日、18日	51名	7階講堂	教育委員会 認定看護師 副主任会 救急対策部会
3	新規作用者研修	カテーテル関連尿路感染症	5月7日	54名	7階講堂	感染看護認定 看護師
4	新規採用者研修	感染防止における看護師の役割安全防止の実際	5月24日	51名	7階講堂	感染対策室 教育委員会
5	新規採用者研修	安全な看護を提供するために 薬剤管理・安全な与薬方法・インシデント教訓事例からの学び	5月28日	50名	7階講堂	薬剤部係長 副主任 教育委員会

No.	研修名	研修内容	実施日	参加者数	会場	講師
6	新規採用者研修	新人のためのメンタルヘルス	6月6日	43名	7階講堂	精神看護認定看護師
7	認定看護師による講演	いつもと違うこれって脳卒中？	7月4日	61名	7階講堂	脳卒中リハビリテーション認定看護師
8	看護補助者研修	医療制度の概要及び病院の機能と組織の理解他	7月4日	38名	7階会議室	主任会
9	看護補助者研修	医療現場で働くうえで大切なこと	8月31日	35名	7階会議室	主任会
10	認定看護師による講座	救急看護 冷静に迅速に	9月5日	71名	7階講堂	救急看護認定看護師
11	看護補助者研修	『おむつ交換』『安全な食事介助』	9月28日	39名	7階会議室	主任会
12	新規採用者研修	院内留学	10月9日～12月7日	46名	各部署	教育委員会
13	重症度、医療・看護必要度研修	重症度、医療・看護必要度の基礎、評価と記録	9月10日 10月19日 12月10日	122名 144名 175名	7階講堂	記録委員会
14	認定看護師による講座	明日から役立つ嚥下の話	10月3日	67名	7階講堂	摂食・嚥下認定看護師
15	看護補助者研修	「清潔ケア」「寝衣交換」	10月19日	34名	7階会議室	主任会
16	IVナースのためのフォローアップ研修	安全な静脈注射の技術の提供 ～ハイリスク薬～	11月21日	113名	7階講堂	教育委員会
17	急変時の対応	ACLCを学ぼう・上級編	12月3日	21名	7階講堂	教育委員会
18	看護師が行うリハビリテーション	早期離床の概念と実際	12月11日	56名	7階講堂	教育委員会
19	緩和ケア研修会	ELNEC-Jコアカリキュラム	12月15日 16日	28名	7階講堂	緩和ケア委員会 教育委員会
20	IVナースのためのフォローアップ研修	安全な静脈注射の技術の提供～ポートの管理	12月21日	62名	7階講堂	教育委員会
21	訪問看護ステーション研修	学びの交流会	平成31年 1月23日	30名	7階講堂	教育委員会
22	中途採用者・臨時職員研修	看護部概要・安全・感染・接遇等	平成31年 1月28日	13名	7階会議室	教育委員会
23	看護補助者活用推進研修	看護チームとして安全で効果的な協働のために	平成31年 1月23日 2月1日	2日間で 181名	7階講堂	教育委員会

24	急変時の対応	ACLICを学ぼう・中級編	平成31年 2月20日	16名	7階講堂	教育委員会
25	緩和ケアトピックス研修	困難な状況における意思決定を体験しよう	平成31年 2月25日	29名	7階 会議室	教育委員会
26	研修報告会	キャリアアップニュース	平成31年 3月1日	54名	7階講堂	教育委員会
27	新規採用者研修	2年目に向けて	平成31年 3月19日	43名	7階講堂	教育委員会
28	認知症ケア研修	身体拘束について考える	平成31年 3月21日	143名	7階講堂	教育委員会

(2) 看護部 病院局研修実施状況

No.	研修名	研修内容	実施日	参加者数	会場	講師
1	新規採用者研修	公務員として 服務・労務・情報・人権	4月1日	54名	7階 講堂	病院局 市民文化局
2	新規採用者研修	医療安全・感染 接遇	4月2日	54名	フロア シオン	川崎病院 小海課長 井田病院 片谷副部長
3	新規採用者研修	看護倫理 メンタルヘルス 看護記録	4月3日	54名	フロア シオン	記録委員 井 田病院武見 師長、川崎病 院精神看護 認定看護師
4	臨地実習指導者 研修①	臨床指導者の役割 看護学生の特徴	4月16日	17名	フロア シオン	川崎市立看 護短期大学 学長補佐 滝島紀子
5	新規採用者研修	専門職として学ぶこと	4月27日	54名	フロア シオン	県立保健福 祉大学 非常勤講師 植垣一彦
6	リーダー役割準 備研修①概論	リーダーとして求めら れる役割	5月21日	31名	フロア シオン	東京医療保健 大学 准教授 末永由理
7	受持ち看護師役 割研修	記録の意義を考える 実際の記録を評価する	6月11日	32名	フロア シオン	川崎病院 榎原課長 井田病院 三好師長
8	新規採用者研修	新人のための夜勤準備 研修	6月18日	49名	フロア シオン	集中ケア 認定看護師

9	看護記録監査研修①	看護記録監査	7月9日	23名	フロラシオン	川崎市立看護短期大学 学長補佐 滝島紀子
10	リーダー役割準備研修②実践編	リーダーに求められる フィジカルアセスメント	7月23日	32名	フロラシオン	スーパージェネ ネラリスト 曾我部雅代
11	看護管理研修	人材育成	7月29日	18名	フロラシオン	「人材育成会議」 検討会議 メンバー
12	新規採用者研修	新人のためのフィジカルアセスメント	8月27日	47名	フロラシオン	集中ケア 認定看護師
13	新人実地指導者研修②	新人看護師の成長を促す支援	9月7日	24名	フロラシオン	県立保健福祉大学 非常勤講師 植垣一彦
14	看護記録研修 応用編	看護過程 看護診断 事例	9月29日	32名	フロラシオン	川崎市立看護短期大学 学長補佐 滝島紀子
15	看護記録監査②	看護記録監査面接技法	10月9日	23名	フロラシオン	川崎市立看護短期大学 学長補佐 滝島紀子
16	新規採用者研修 看護記録研修 基礎編	看護過程 看護診断	10月18日	48名	フロラシオン	川崎市立看護短期大学 学長補佐 滝島紀子
17	看護管理者研修	人材育成 新リーダー	11月4日	18名	フロラシオン	「人材育成計画」 検討メンバー
18	受持ち看護師研修	フィジカルアセスメント	11月9日	27名	フロラシオン	川崎病院 集中ケア 認定看護師
19	チームリーダー研修	チームにおけるリーダー 役割研修	12月1日	20名	フロラシオン	国立看護大学 校講師 藤澤雄太
20	看護単位における リーダー役割 研修①	部署の抱える課題の 分析	12月6日	25名	フロラシオン	東京医療保健 大学教授 末永由理

						両病院サード 修了者
21	看護倫理研修	患者の人権と看護職の 責任を理解し倫理的課 題への対応について学 ぶ	平成31年 1月16日	21名	フロラ シオン	聖路加国際 大学准教授 鶴若麻理
22	新規採用者研修	受持ち看護師準備のた めの研修	平成31年 1月25日	47名	フロラ シオン	川崎病院 榎原課長 県立保健福祉 大学 非常勤講師 植垣一彦
23	臨地実習指導者 研修②	臨地実習指導者として の関わりを振り返り今 後の後輩育成につなげ る	平成31年 2月4日	16名	フロラ シオン	川崎市立看護 短期大学 学長補佐 滝島紀子
24	新人実地指導者 研修③	新人指導者としての関 わりを振り返る。プロ セスの中で今後の課題 を明確にできる	平成31年 2月20日	23名	フロラ シオン	県立保健福祉 大学 非常勤講師 植垣一彦
25	看護単位におけ るリーダー役割 研修②	部署の抱える課題の分 析	平成31年 3月2日	25名	フロラ シオン	両病院 サード修了 者
26	平成31年度新 人実地指導者研 修①	新人看護師の特徴とは 新人実地指導者とは	平成31年 3月8日	19名	フロラ シオン	県立保健福祉 大学 非常勤講師 植垣一彦



## 5 院外看護活動（DMAT 訓練等）

日程	活動名	対象	場所	参加者
5月15～16日	技能維持研修	神奈川 DMAT	災害医療センター	奈良
5月20日	健康福祉局防災訓練	川崎 DMAT	川崎市役所第3庁舎	小高・戸嶋 稲葉
8月4日	大規模地震時医療活動訓練	神奈川 DMAT	四国	奈良
8月26日	ビッグレスキューかながわ	神奈川 DMAT-L	厚木市立病院	吉田
9月1日	九都県市合同訓練 川病災害訓練	神奈川 DMAT	東扇島 川崎病院	内海・戸島・清水・ 森・吉田・奈良・ 岡部・服部
9月22日	東田公園防災 イベント 2018	ボランティア	東田公園	塚田
10月12日	幸区消防テロ訓練	川崎 DMAT	川崎テックセンター	吉田・岡部
10月13日	多摩川花火大会 医療救護	川崎 DMAT 他	多摩川河川敷	稲葉・森
10月18日	羽田空港訓練	川崎 DMAT 他	羽田空港	清水
10月27日	井田病院災害訓練	災害看護講師 川崎 DMAT	井田病院	内海・稲葉
11月9日	都直下地震 防災訓練	川崎 DMAT	東扇島東公園	青木
11月25日	災害時病院連携訓練 (中部)	川崎 DMAT	川崎市医師会館	内海・稲葉
12月8～9日	関東ブロック訓練 (千葉)	日本 DMAT	船橋市立医療センター	塚田・内海
1月18日	川崎 DMAT 隊員 養成訓練	川崎 DMAT	犬蔵訓練施設	受講：森・庄司 補助員：服部 内海・古瀬

日程	活動名	対象	場所	参加者
1月20日	済生会東部病院訓練	神奈川 DMAT-L	済生会東部病院	松本
1月27日	保健医療活動訓練	川崎 DMAT	幸区役所	清水
2月3日	保健医療活動訓練	川崎 DMAT	川崎区役所	小高・松本 内海
2月6～7日	日本 DMAT 技能維持研修	日本 DMAT	県西地域 県政総合 C	内海
2月9日	神奈川 DMAT-L 隊員養成	神奈川 DMAT-L	横浜労災病院	補助員：服部
2月18～19日	日本 DMAT 技能維持研修	神奈川 DMAT	災害医療 センター	奈良
2月20日	臨港消防訓練	川崎 DMAT	川崎大師	吉川・服部
2月25～27日	日本 DMAT 隊員養成研修	神奈川 DMAT-L	災害医療 センター	吉田

## 6 各科別実習状況報告

科・部	学校・病院名	人数	科・部	学校・病院名	人数
内科・総合内科	昭和大学	1名	外科	東京医科歯科大学	1名
	愛知医科大学	1名		富山大学	1名
	杏林大学	2名		北里大学	1名
	横浜市立大学	6名		琉球大学	1名
	関西医科大学	1名	精神科	群馬大学	1名
	金沢医科大学	1名		慶應義塾大学	1名
	金沢大学	1名		香川大学	1名
	九州大学	1名	小児科	宮崎大学	1名
	慶應義塾大学	7名		九州大学	1名
	広島大学	1名		群馬大学	1名
	香川大学	2名		慶應義塾大学	7名
	三重大学	1名		広島大学	1名
	山口大学	2名		順天堂大学	1名
	鹿児島大学	2名		新潟大学	1名
	秋田大学	2名		大阪大学	1名
	順天堂大学	1名		東海大学	1名
	昭和大学	1名		東京医科歯科大学	1名
	信州大学	2名		東京慈恵会医科大学	1名
	新潟大学	1名		東京女子医科大学	1名
	千葉大学	2名		東京大学	1名
	大阪医科大学	1名		藤田保健衛生大学	1名
	筑波大学	3名	北海道大学	1名	
	東京医科歯科大学	1名	産婦人科	山口大学	1名
	東京医科大学	2名		信州大学	1名
	東京慈恵会医科大学	3名		東海大学	1名
	東京大学	1名		東京慈恵会医科大学	1名
	東邦大学	2名		福岡大学	1名
	東北大学	2名	救急科	横浜市立大学	8名
	浜松医科大学	1名		岩手医科大学	1名
	福岡大学	1名		久留米大学	1名
	福島県立医科大学	3名		金沢医科大学	1名
	北海道大学	3名		熊本大学	1名
	和歌山県立医科大学	1名		群馬大学	1名
外科	横浜市立大学	1名		慶應義塾大学	5名
	岩手医科大学	1名		広島大学	1名
	熊本大学	1名		高知大学	1名
	慶應義塾大学	4名		埼玉医科	1名
	鹿児島大学	1名		札幌医科大学	1名
	順天堂大学	2名	山形大学	1名	
	千葉大学	1名	山口大学	1名	
	大分大学	1名	山梨大学	2名	

科・部	学校・病院名	人数
救急科	鹿児島大学	1名
	秋田大学	3名
	順天堂大学	3名
	昭和大学	1名
	聖マリアンナ医科大学	1名
	大阪医科大学	1名
	大分大学	1名
	筑波大学	1名
	東京慈恵会医科大学	6名
	東邦大学	2名
	東邦大学	1名
	東北大学	1名
	日本医大	1名
	浜松医科大学	1名
	富山大学	1名
	福井大学	1名
	福島県立医科大学	2名
	北海道大学	1名
	北里大学	1名
	名古屋市立大学	1名
琉球大学	2名	

科・部	学校・病院名	人数
整形外科	慶應義塾大学	5名
	東京慈恵会医科大学	1名
脳神経外科	近畿大学	1名
	九州大学	1名
	慶應義塾大学	1名
皮膚科	慶應義塾大学	1名
泌尿器科	北里大学	1名
放射線診断科	宮崎大学	1名

※ 平成28年度から、現役研修医の見学は数値から除外している。

## 7 講師派遣実施状況

### (1) 看護師

氏名	派遣場所	担当科目	期間
鈴木見香	川崎看護専門学校	成人健康支援論Ⅱ（手術室の看護）	4月12日
渡邊恭子	大船中央病院	がん化学療法認定看護師の派遣について	5月18日
土屋千恵子	川崎市ナーシングセンター	平成30年度 新人看護職員指導者研修・新人看護職員研修	6月7日
吉田優作 稲葉咲	川崎市立看護短期大学	一次救命処置（BLS）の基礎と実際	6月8日
千島美奈子	神奈川県立保健福祉大学実践教育センター	認定看護管理者教育課程 ファーストレベル	6月14日
大山美和子	フロラシオン川崎	新人のための夜勤準備研修	6月18日
古瀬美穂	介護福祉士 桜寿園	福祉看護職のための出張講座	6月22日・7月27日
佐藤江利子	介護福祉士 桜寿園	福祉看護職のための出張講座	6月22日・7月28日
柳井田恭子	神奈川県立保健福祉大学実践教育センター	成人看護学（慢性期）Ⅱ	6月26日・7月3日・10日
北村めぐみ	東京工科大学	卒業生講話	7月5日
高畑良子	川崎市立看護短期大学	老年看護方法Ⅰ（生活機能の維持増進）	7月6日
加藤理賀子 高橋一子	テルモ株式会社	実践から看護の意味を考える川崎糖尿病看護研究会	7月8日
楳原弘成	川崎市立看護短期大学	看護管理の実際	7月19日
高橋一子	国立京都国際会館	第6回日本糖尿病療養指導学術集会	7月28日・29日
塚田千代	川崎市ナーシングセンター	災害看護研修会	8月21日
佐藤江利子	目白大学メディカルスタッフ研修センター	脳卒中患者の回復を促すベッド上でのポジショニングの実践	8月25日
高橋一子	川崎病院講堂（旭化成ファーマー）	川崎リウマチ膠原病セミナー	9月12日
土屋千恵子	川崎看護専門学校	成人健康支援論Ⅰ（糖尿病患者の看護）	9月14日・21日
三津田舞	川崎看護専門学校	臨床看護技術Ⅰ（感染予防の為の組織的取り組みと看護の役割）	9月21日
久野昭子	川崎市立看護短期大学	手術看護	9月27日
西森春江	川崎看護専門学校	心の健康支援論Ⅱ（地域で生活するための原則と生活を支える制度）	10月3日・10日 17日・24日
高畑良子	川崎市立看護短期大学	生涯学習支援講座 よりよい地域包括ケアの実現に向けて	10月20日
武田明日香	川崎看護専門学校	老年健康支援論Ⅰ（人工肛門を持つ患者の看護）	10月29日

氏名	派遣場所	担当科目	期間
田中有子	社会法人 虹の会	医療的ケア児に対する道尿・浣腸の研修	10月30日
内海聡 稲葉咲	川崎看護専門学校	災害・国際看護（災害看護）	10月30日・11月6日・13日
長澤聖子	川崎看護専門学校	母性発達支援論Ⅱ（妊娠・分娩・産褥の以上に関する看護）	11月7日・14日・21日
小澤康子	川崎看護専門学校	成人健康支援論Ⅰ（クリティカルケア）	11月12日・19日
吉川紀子	川崎市立看護短期大学	小児看護方法 NICU/GCUと病棟における看護の実際	H31年1月17日
古瀬美穂	医療法人 啓和会	福祉看護職のための出張講座	H31年2月13日
佐藤江利子	ビジョンセンター横浜	ホリスターストーリーマケアセミナー	H31年3月16日

## (2) 医師

派遣場所	川崎市立看護短期大学			学年学期	2年次 前期・後期
科目名	病態治療学Ⅲ・Ⅳ	単位数	各1単位(必修)	科目区分	人間と健康
担当者	市東昌也 夏 錦言 倉田忠宜 今西智之 澤藤 誠 中道憲明 齋藤 豊 伊藤賀一 佐藤陽一郎 宮川俊一 原 智(担当順)				

## 「授業概要」

病態治療学Ⅲ・Ⅳでは、手術療法と血管塞栓術などの手術に準ずる治療、麻酔、救急・集中治療について教授します。それぞれの治療目的と適応、効果、治癒による生体への侵襲と回復過程について概説し、さらに具体的な治療方法や関連する検査・援助について代表的な状態や疾患を引用して解説します。

小児科は内科と重複する疾患が多いですが、年齢によって疾患の傾向が違います。それは、患者さんが成長していくからです。この講義の目的は、そのような特殊性を加味して、小児疾患を理解することにあります。

生殖器・特殊感覚器疾患については、手術療法と血管塞栓術など手術に準ずる治療、麻酔、救急・集中治療について教授します。それぞれの治療目的と適応、効果、治療による生体への侵襲と回復過程について概説し、さらに具体的な治療方法や関連する検査・援助について代表的な状態や疾患を引用して解説します。

## 「授業計画」

病態治療学Ⅲ	病態治療学Ⅳ
1 手術学総論 適応	1 小児1：総論
2 手術学総論 術前検査	2 小児2：新生児
3 手術学総論 術後管理	3 小児3：乳児
4 内視鏡下手術 総論	4 小児4：幼児
5 内視鏡下手術 各論	5 小児5：学童、思春期
6 I V R	6 産科手術
7 手術学各論 脳神経外科	7 婦人科手術
8 外科	8 産科正常編
9 呼吸器外科	9 産科異常編
10 整形外科	10 眼科
11 心臓外科	11 耳鼻咽喉科
12 救急	12 皮膚科
13 麻酔	13 泌尿器科
14 心肺蘇生	14 まとめ1
15 まとめ	15 まとめ2

## (3) 薬剤師

氏 名	派 遣 場 所	担 当 科 目	期 間	回 数
小林 岳	星薬科大学	薬局ビジネス・イノベーション概論	6月27日	1回
小林 岳	星薬科大学	実務実習事前学習	11月	2回
小林 岳	神奈川県立保健福祉大学 実践教育センター	感染症学（抗微生物薬の種類と薬理作用）	7月12日	1回
丸本 かおり	川崎看護専門学校	病態薬理学	4月～6月	7回

## (4) 診療放射線技師

氏 名	派 遣 場 所	担 当 科 目	期 間
高橋 紀子	川崎市立看護短期大学	画像診断	11月29日
大橋 幸也	川崎市立看護短期大学	画像診断	11月29日

## (5) 臨床検査技師

氏 名	派 遣 場 所	担 当 科 目	期 間
鈴木 玲子	神奈川県立衛生看護専門学校	妊娠期の診断技法 超音波検査	6月20日



## VI 臨床研修概要

### 1 経緯

#### (1) 病院の沿革・特徴

昭和2年、伝染病組合病院が川崎市立病院に改称、昭和11年、大規模改築、昭和20年6月1日に総合病院となり、その後建物、設備、診療科の増設を逐次行い、市民の医療の中枢を担う病院に発展してきました。

昭和40年、救急指定病院となり、昭和42年には研修医制度が発足しました。それ以降、各学会の指定医の研修施設に指定され、昭和63年には、外国人医師等を対象とした臨床修練指定病院となりました。

また、平成10年4月から総合診療科を設置したことに伴い、新たに後期臨床研修も実施しています。

なお、平成7年から全面改築を進めてきましたが、平成10年11月病棟・中央診療棟が完成し、そして平成12年4月、新外来棟がオープンしたことにより、当院を取り巻く医療環境は、大幅に改善されたばかりでなく、導入された総合医療情報システムや搬送システムが完全に稼働し、機能面でも一段とアップしました。

#### (2) 初期臨床研修

当院の臨床研修制度は、昭和42年4月に発足し、既に41年が経過しています。最初の10年間は研修期間4年のレジデント制度として行われ、昭和52年からは2年間の臨床研修制度となりました。

また、当初の12年間は学制と同じく4月に始まり、3月に終わる制度でありましたが、研修医内定者のうち医師国家試験に不合格となるものがあり、厚生省の指導や欠員を配慮して昭和54年からは6月開始・5月修了に改められました。そして、平成5年に至り医師国家試験の期日が3月に変更されたことに伴い、5月開始・4月修了という新たな制度に生まれ変わりました。

昭和50年度までは単一専門科か専門科と関連する他の1から2科を研修するのみでありましたが、昭和51年度からは専門科に重点を置きながらも、広く各科を研修するローテイト方式を採用してきました。

これは平成16年度から実施された卒後臨床研修制度を先取りしていたものであったといえます。

平成16年5月からは新たな卒後臨床研修制度義務化に伴って、単独型臨床研修病院として初期研修医各学年10名を受け入れ、更に川崎市立井田病院に対する協力型病院として井田病院の臨床研修医（当院ローテイトは卒後2年目）を指導しています。

平成22年12月1日に卒後臨床研修評価機構の認定を受けました。以後、平成24年、平成30年に更新認定を受けています。

新制度実施後、多数の医学生から応募があるのは、当院がこれまで取り組んできた臨床研修制度が高く評価されたものと自負しつつも更に医療安全管理・倫理面も含めた教育内容を拡充し、優れた臨床医の育成を図りたいと考えています。

ア 臨床研修医年度別 採用者数

年 度	応 募 者	採 用	修 了	備 考
昭和44	5	3		
45	14	7	3	
46	19	4	2	
47	18	6	8	
48	17	8	4	
49	24	6	3	
50	39	10	7	
51	37	5	5	3年制→2年制度へ移行
52	26	8	5	
53	23	10	11	
54	42	10	11	
55	17	10		
56	12	3	9	
57	9	5	8	
58	4	3	2	
59	11	5	5	
60	11	1	11	
61	9	5	1	
62	6	2		
63	8	2	4	
平成元	12	8	2	
2	9	6	1	
3	9	7	6	
4	13	10	6	
5	12	7	5	
6	10	9	8	
7	11	11	6	
8	21	10	7	
9	13	6	8	
10	12	9	10	
11	16	9	4	
12	16	11	5	
13	14	10	8	
14	11	10	8	
15	8	7	7	
16	84	10	6	
17	126	9	4	
18	83	9	9	
19	103	10	9	
20	83	9	9	
21	62	10	9	
22	67	10	10	
23	79	10	10	
24	96	10	10	
25	77	10	10	
26	51	10	10	
27	73	9	10	
28	88	10	9	
29	74	10	10	
30	74	10	10	
<b>計</b>	<b>1758名</b>	<b>389名</b>	<b>325名</b>	

イ 専攻医年度別 採用者数

年度	応募者数	採用	備 考
13	13	12	
14	8	8	
15	10	10	
16	13	10	
17	11	11	
18	13	12	
19	27	25	
20	44	36	
21	38	34	
22	32	29	
23	34	27	
24	38	34	
25	31	30	
26	40	40	
27	46	45	
28	38	37	
29	37	37	
30	39	39	

ウ 臨床研修医出身校別採用者数

国・公立大学

私立大学等

(平成31年4月1日現在)

出身校	年度 昭和42~平成23							計	出身校	年度 昭和42~平成23							計
	26	27	28	29	30	計	26			27	28	29	30	計			
北海道大	4						5	岩手医大	2						2		
札幌医大	1	1					1	自治医大	7						7		
旭川医大	1						1	埼玉医大	3						3		
弘前医大	5						5	日本医大	4						4		
秋田医大	7						7	日本医大	3						3		
山形医大	2					1	3	順天堂大	3						3		
東北医大	3				1		4	慶應義塾大	80	6	3	5	4	5	103		
福島医大	1						1	東京医大	8						8		
群馬医大	3		1				4	東京女子医大	8						8		
筑波医大	2		1	1	1	1	6	東恵医大	28					1	29		
千代田大	13	1			1		15	昭和大	7		1			1	9		
東京大	2	1		1	1		5	東邦大	15			1			15		
東京医科歯科大	4						4	杏林大	7						7		
横浜市立大	3						3	聖マリアンナ大	14				1		15		
山梨大	1						1	北里大	6		1				7		
新潟大	4						4	東海大	13						13		
富山大	2						2	帝京大	1				1		2		
福井大	2			1			3	藤田保健大	10						10		
浜松医大	4						4	愛知医大	2						2		
岐阜大	2						2	関西医大	3						3		
名古屋大	2						2	大阪医大	2						2		
名古屋大	3						3	兵庫医大	1						1		
三重大	3						3	川崎医大	2						2		
奈良大	1						1	産業医大	5						5		
京都大	1						1	留米大	2						2		
神戸大	3						3	金沢大	2						2		
岡山大	2						2	九州大						1	1		
岡山大	1						1	その他(海外等)	2						2		
山根大	2						2								0		
徳島大	2						2								0		
香川大	1						1								0		
長崎大	4			1			5								0		
佐賀大	1						1								0		
熊本大	2						2								0		
鹿児島大	1						1								0		
琉球大	2						2								0		
琉球大	0	1					1								0		
大阪大	0		2				2								0		
高知大	0						0								0		
滋賀大	0			1			1								0		
計	97	4	4	5	4	2	116	計	240	6	5	5	6	8	270		

エ 初期臨床研修修了者（平成29年度生）

修了年月日	氏名	出身校
平成31年3月31日	今本多計臣	聖マリアンナ医科大学
平成31年3月31日	内田 紘子	慶應義塾大学
平成31年3月31日	及川 紗由香	千葉大学
平成31年3月31日	加藤 恭介	慶應義塾大学
平成31年3月31日	佐藤 慎吾	東京大学
平成31年3月31日	佐柳 太一	慶應義塾大学
平成31年3月31日	田中 邦生	東北大学
平成31年3月31日	田中 優衣	慶應義塾大学
平成31年3月31日	松山 遼太郎	帝京大学
平成31年3月31日	森田 すみれ	筑波大学

<2年以上研修を受けた専攻医>（※ 1年6か月以上2年未満の者を含む。）

- ・鳥海 聡                      ・小室 祥子                      ・永田 亮平                      ・金子 翔太郎                      ・松原 祥平                      ・上園 志徳
- ・阪口 楓                      ・永田 真夕                      ・塩見 慶子                      ・金本 徳之                      ・井上 夏子                      ・井口 聖名
- ・平川 雄亮                      ・北嶋 宏輝                      ・井上 聡                      ・藤網 隆太郎                      ・野口 二三枝                      ・西 恵美里

<1年間研修を受けた専攻医>（※ 6か月以上1年未満及び1年6か月未満の者を含む。）

- ・長岡 可楠子                      ・辻岡 亮介                      ・青木 真理子                      ・倉地 祐之真                      ・森田 篤帆                      ・阿瀬川 周平
- ・石垣 星                      ・大草 翔平                      ・白井 耕太郎                      ・岩瀬 諒子                      ・金山 芳郎                      ・杉山 耀一
- ・阿部 恭嗣                      ・高倉 悠人                      ・相馬 裕樹                      ・篠崎 太郎                      ・官武 瑛里                      ・前田 智早
- ・郡司 崇裕                      ・西條 裕介                      ・菊地 陽                      ・菊地 悠平                      ・高橋 哲朗                      ・小澤 佑
- ・井澤 水葵                      ・王 洪欣                      ・吉村 拓馬                      ・真木 順子                      ・松居 祐樹                      ・木村 萌美
- ・佐々木 洋介                      ・石川 貴大                      ・上平 真衣                      ・菊岡 泉                      ・藤田 野々香                      ・山下 友寛

オ 在籍する臨床研修医（平成31年4月1日現在）

2年次生（平成30年度生）		1年次生（平成31年度生）	
氏名	出身校	氏名	出身校
石原 啓成	慶應義塾大学	安藤 拓	慶應義塾大学
児玉 充輝	慶應義塾大学	渦川 真優子	昭和大学
佐久間 萌子	慶應義塾大学	小澤 拓矢	筑波大学
島 優作	慶應義塾大学	神川 慶彦	慶應義塾大学
曾賀野 純希	慶應義塾大学	岸本 ゆりえ	慶應義塾大学
園田 啓太	慶應義塾大学	北村 佳奈	東京慈恵会医科大学
東川 康嗣	慶應義塾大学	洪 美希	慶應義塾大学
西元 ゆい	東邦大学	島田 優希	山形大学
松井 友哉	慶應義塾大学	時枝 啓太	九州大学
山根 聖弘	東京医科歯科大学	三角 昂之	慶應義塾大学

カ 在籍する専攻医(令和元年6月1日現在)

4年次生以上			3年次生		
志望科	氏名	出身校	志望科	氏名	出身校
内科	相馬 裕樹	名古屋市立大学	内科	加藤 恭介	慶應義塾大学
内科	酒井 志穂	東邦大学	内科	石野 すみれ	筑波大学
内科	岡田 真彦	慶應義塾大学	内科	永江 真也	神戸大学
内科	杉山 耀一	名古屋市立大学	内科	遠藤 洵之介	慶應義塾大学
小児外科	安部 恭嗣	信州大学	内科	増田 恭子	慶應義塾大学
整形外科	鑑 涼介	福島県立医科大学	内科	海江田 祐太	官崎大学
整形外科	谷口 文則	神戸大学	内科	伊藤 守	慶應義塾大学
脳神経外科	丹羽 隆文	岐阜大学	内科	古橋 和謙	慶應義塾大学
精神科	高原 健人	慶應義塾大学	外科	前田 悠太郎	慶應義塾大学
小児科	橋本 善太	高知大学	外科	渡邊 理	帝京大学
皮膚科	菊岡 泉	福岡大学	整形外科	今本 多計臣	聖マリアンナ医科大学
泌尿器科	村松 俊	滋賀医科大学	小児科	諸川 明洋	東海大学
婦人科	岩澤 智裕	慶應義塾大学	小児科	古山 和佳奈	島根大学
婦人科	清河 駿樹	慶應義塾大学	泌尿器科	西村 宙悟	群馬大学
耳鼻咽喉科	桑名 温子	筑波大学	麻酔科	花岡 美穂	東京医科歯科大学
耳鼻咽喉科	松居 祐樹	慶應義塾大学			
麻酔科	五島 加奈子	東京女子医科大学			
麻酔科	北嶋 宏輝	横浜市立大学			
麻酔科	山下 友寛	慶應義塾大学			
麻酔科	鶴澤 侑子	埼玉医科大学			
歯科口腔外科	河手 森彦	慶應義塾大学			
救急科	木村 萌美	北海道大学			
救急科	井上 聡	大分大学			
救急科	藤田 野々香	福井大学			
	佐々木 洋介	Semmelweis University			

## 2 初期臨床研修医プログラム

### (1) 名 称

川崎市立川崎病院初期臨床研修プログラム

### (2) 目的と特徴

当院の研修医制度は、昭和42年4月に発足し、その後教育指導部を設置して既に40年以上が経ちますが、この間多数の研修修了者を送り出してきました。その後、幾度かの変遷を経て、現在では、毎年4月1日に研修開始して、2年後の3月31日に修了する方式を採っています。

ローテイトに当たっては、研修医と十分話し合いを持ち、それぞれに最も適した個別カリキュラムを組んで、限られた期間に充実した研修成果が上がるよう努めています。

また、各科の基礎的診断治療のための技能の習得のみならず、“病気を診るのではなく、悩める病人を診る”という、診療態度の修得やプライマリ・ケアを重視した研修を行っています。

医学の進歩に伴い、医療の専門分化・高度化により各臓器疾患の専門医は増加し、これまで治療困難とされた疾患が克服できるようになりました。それに反して患者を全人的に診療できる医師（General Physician）は少なく、“病気のみを診るのではなく悩める病人を診る”ことのできるGeneral Physicianの養成が社会的に求められています。また、本当の意味での専門医はGeneral Physicianとしての素養を身につけた上で、自分の専門分野を追及していくべきと考えます。

そこで当院では、“臓器別専門医である前に、患者全体を診て適切な診療を行う”を基本方針の基に、臨床医としての基礎的臨床能力を養成することを主たる目標にしました。

### (3) 指導者と研修施設

#### ア 指導者と研修プログラム責任者

研修管理委員会委員長 小宮 浩一郎

#### イ 研 修 施 設

診療各科及び検査科の施設、研究室、会議室

#### ウ 指導医リスト [医師免許取得後7年以上] (令和元年6月1日現在)

内科	大曾根 康夫	有馬 功一郎	佐山 宏一	野崎 博之
	末吉 浩一郎	坂本 光男	西澤 健也	玉井 博修
	伯野 大彦	高木 英恵	李 慧崇	津村 和大
	田口 博章	滝口 俊一	有泉 健	大森 奈緒
	高橋 賢至	田中 希宇人	深江 智明	井上 健太郎
	扇野 圭子	細田 智弘	北菌 久雄	布施 彰久
	久武 祐太	松原 祥平	花田 亮太	
精神科	齋藤 寿昭	鹿島 美納子	三浦 孝政	
小児科	土橋 隆俊	有安 大典	檜林 敦	松尾 基視
	外山 陽子	吉田 祐	本田 堯	
新生児内科	森 和広	古川 律子	梶原 久美子	坂井 みのり

	金子 絵名	宮武 瑛里		
外科	金井 歳雄 和多田 晋 菊池 勇次	市東 昌也 三原 規奨 山高 謙	相浦 浩一 田中 真之	萬谷 京子 近藤 崇之
呼吸器外科	澤藤 誠	井澤 菜緒子	奥井 将之	
脳神経外科	今西 智之 植田 良	小野塚 聡	片山 真	三島 牧
整形外科	小柳 貴裕 西脇 正夫 美馬 雄一郎	上田 誠司 山口 健治	中道 憲明 西村 空也	小宮 浩一郎 畑 亮輔
形成外科	畑野 麻子	北畑 伶奈		
心臓血管外科	南雲 正士	井上 慎也		
皮膚科	宮川 俊一	渡邊 絵美子		
泌尿器科	原 智	前田 高宏	服部 盛也	勝井 政博
産婦人科	中田 さくら 鈴木 毅	染谷 健一 石垣 順子	樋口 隆幸 大橋 千恵	金 善恵
眼科	堀内 直樹	小澤 紘子	藤岡 俊平	伊藤 賀一
耳鼻咽喉科	今西 順久	佐藤 陽一郎	西山 崇経	
放射線診断科	倉田 忠宜	長谷川 市郎	佐藤 宏朗	緒方 雄史
放射線治療科	栗林 徹	舟越 和人		
麻酔科	森田 慶久 平畑 枝里子	逢坂 佳宗 瀬上 和貴	阪本 浩平 梶谷 美砂	細井 卓司 北嶋 宏輝
救急科	田熊 清継 竹村 成秀 白川 和宏	齋藤 豊 金尾 邦生 土屋 光正	塩島 裕樹 植松 敬子 石田 径子	進藤 健 三吉 貴大 鳥海 聡
リハビリテーション科	阿部 玲音	杉山 瑤		
歯科口腔外科	鬼澤 勝弘	安居 孝純		
検査科	杉浦 仁	折笠 英紀		

エ 専門医（認定医）教育病院等学会の指定状況

日本内科学会認定医制度教育病院	日本リウマチ学会認定教育施設
日本内分泌学会内分泌代謝科専門医制度認定教育施設	日本感染症学会認定研修施設
日本アレルギー学会認定アレルギー専門医教育研修施設	日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
日本呼吸器内視鏡学会専門医制度認定施設	日本呼吸器学会認定施設
日本小児科学会小児科専門医研修施設	日本小児科学会小児科専門医研修支援施設
日本精神神経学会精神科専門医制度研修施設	日本認知症学会認定教育施設

日本神経学会専門医制度准教育施設	日本外科学会外科専門医制度修練施設
日本消化器外科学会専門医修練施設	日本消化器病学会専門医制度認定施設
日本消化器内視鏡学会認定指導施設	日本胆道学会認定指導施設
日本脳神経外科学会専門医研修プログラム 連携施設	日本脳卒中学会専門医認定研修教育病院
日本呼吸器外科専門医合同委員会認定修練基 幹施設	三学会構成心臓血管外科専門医認定機構認定 関連施設
日本胸部外科学会認定医認定制度指定施設関 連病院	日本泌尿器科学会専門医教育施設
日本皮膚科学会認定専門医研修施設	日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施 設	日本集中治療医学会専門医研修施設
日本麻酔科学会麻酔科認定病院	日本整形外科学会専門医制度研修施設
日本整形外科学会認定医制度研修施設	日本形成外科学会認定教育関連施設
日本手外科学会認定研修施設	日本核医学会専門医教育病院
日本眼科学会専門医制度研修施設	日本放射線腫瘍学会認定協力施設
日本医学放射線学会放射線科専門医総合修練 機関	日本リハビリテーション医学会認定研修施設
日本IVR学会専門医修練施設	日本臨床細胞学会認定施設
日本口腔外科学会関連研修施設	日本救急医学会救急科専門医指定施設
日本病理学会研修認定施設B	日本心血管インターベンション治療学会認定 研修施設
日本がん治療認定医機構認定研修施設	日本乳癌学会認定医・専門医制度関連施設
日本脈管学会認定研修指定施設	胸部大動脈瘤ステントグラフト実施施設
腹部大動脈瘤ステントグラフト実施施設	日本食道学会全国登録認定施設
日本頭頸部外科学会頭頸部がん専門医制度準 認定研修施設	日本乳がん検診精度管理中央機構マンモグラ フィ検診施設
日本消化管学会胃腸科指導施設	日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設
日本周産期・新生児医学会専門医制度暫定認定 施設	日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科専門医基幹 研修施設認定証
日本肝胆膵外科学会高度技能専門医制度認定 修練施設	浅大腿動脈ステントグラフト実施施設
神奈川県医師会母体保護法指定医師指定研修 機関認定証	日本女性医学学会女性ヘルスケア専門医研修 施設
日本糖尿病学会教育関連施設	日本超音波医学会超音波専門医研修施設

#### オ 指導體制

各科とも原則としてマンツーマン方式を取れ入れています。



(4) プログラム委員会

本院には、研修管理委員会が設置されており、その委員がプログラム委員を兼務します。

(5) プログラム管理体制

ア 研修管理委員会の組織・機能

(ア) 委員長：小宮 浩一郎 研修管理委員会委員長

(イ) 構成：委員は各研修カリキュラムの責任者、院長、事務局長、副院長、庶務課長、研修協力施設の研修実施責任者（指導医等）、外部委員（医師等）

(ウ) 業 務

a 研修プログラムの全体的な調整・管理

（研修プログラム作成方針の決定や、各研修カリキュラム間の相互調整など）

b 研修医の全体的な管理

（研修医の募集、他施設への出向、研修医の処遇、研修医の健康管理）

c 研修医の研修状況の評価

（研修目標の達成状況の評価、臨床研修修了の評価）

d 採用時における研修希望者の評価

e 指導医の評価と記録

f 研修後の進路について、相談等の支援を行う

g 院内カンファレンス、研修資料と教育機材の管理、指導医研修

イ 研修医の勤務規定、顕彰・処罰規定及び採用方法

研修医の勤務規定、顕彰・処罰規定及び採用方法は別途定める要綱によります。研修医は、毎年公募により採用されます。

ウ 研修プログラムの自己評価と改善体制

研修管理委員会では、研修医の研修成果や研修医・指導医の意見を踏まえ、常に研修プログラム自体の評価を行い、修正可能な点は速やかに修正します。また、大きなシステム上の問題は、関係各所と協議の上、適宜改善を行います。

エ 研修医からのフィードバック

研修医は、研修実行委員と定期的に面接を行い、研修プログラムや指導医に対する意見を述べるすることができます。臨床研修委員会は、できるだけ研修医の要望を実現できるように配慮します。

オ 研修の継続が困難な研修医に対する処置

身体的・社会的・経済的理由などにより、研修継続が困難な状態に陥った場合は、臨床研修委員会及び研修責任者は、研修医個人の処遇を勘案し、適切な対応を行うものとします。

(6) 卒後臨床研修・ローテイトについて

ア 期間割り研修医予定配置

1年次の最初の月（4月）は、全員が救急科で研修を行います。厚生労働省の定める内科6箇月、救急科3箇月、地域医療1箇月を必修科目として計10箇月間研修します。選択必修は5科（外科、麻酔科、小児科、産婦人科、精神科）の中から2科を選択し、選択科（内科、外科、

救急科、麻酔科、小児科、産婦人科、精神科、整形外科、形成外科、放射線科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、脳神経外科、心臓血管外科、リハビリテーション科、検査（病理）科、の中から選択）と合わせて計14箇月の研修を行います。

選択科目の研修期間は、プログラムの特性を配慮し、最低1箇月とします。

選択科目の研修に当たっては、研修医が各研修カリキュラムを選択し、積極的に研修に取り組み、充実した研修ができるように留意します。

(7) 研修医定員及び処遇

研 修 医 定 員	: 1年次10名、2年次10名
募 集 及 び 採 用 方 法	: 公募、小論文、集団面接及び集団討論にて選考、マッチングに参加
資 格	: 平成31年度に日本で有効な医師免許を取得見込みの者
処 遇	: 川崎市非常勤嘱託職員 地方公務員法（以下「地公法」という。）第30条及び第32条から第35条を、遵守する義務を負う。
待 遇	: 給与月額 364,100円 健康保険・厚生年金・雇用保険・労働災害補償あり レジデントハウス（単身者用）あり 病院個室なし、個人の机及びロッカー有り 定期健康診断年1回 医師賠償責任保険は病院として加入 学会及び研究会への参加は研修に支障のない範囲で可。ただし、公費負担なし。
勤 務 時 間	: 1週5日（月～金曜日） 月～金曜日：8時30分～17時まで 時間外勤務なし 研修以外の診療活動は認めない（地公法第38条の改正による） 当直は配属科により変わるが、内科の場合に平日当直2日、休日当直1日が目安である。
年 次 有 給 暇 等	: 1年目10日、2年目11日付与 夏期休暇5日（6月1日～10月31日までの間に取得）

(8) 研修修了認定基準

臨床研修医に関する要綱中、第10条の修了証書の授与に際しては、次の基準によるものとします。

ア 各研修医は、厚生労働省の指定した初期臨床研修到達目標の自己評価表に基づき、自己採点を行い、研修責任者に提出する。

イ 研修責任者は、研修管理委員会を開催し、ローテイトした科の指導責任者の採点によるレジデント評価表と研修医が採点した自己評価表を併せて審査し、その結果を院長に報告する。

ウ 院長は、報告に基づき研修が修了したと認定された研修医に対して、修了証書を授与する。



## VII 業 績 目 録

科 別 業

科目	年度	科 別												
		内科・総合内科	精神科	小児科	新生児内科	外科	呼吸器外科	脳神経外科	整形外科	形成外科	心臓血管外科	皮膚科	泌尿器科	産科・婦人科
学 位 取 得	26									1				1
	27													
	28													
	29													
	30													
賞	26	1												
	27													
	28								2				1	1
	29													1
	30													
研 究 助 成 共 同 研 究	26	2						1					1	
	27		1					1					1	
	28							1						
	29							1						
	30							1						
書 籍	26	1		1		2			1					5
	27						4		10					1
	28		1						3					
	29								1					
	30			1		1			1					
論 文	26	18		9		5	3	1	20		1	7	4	11
	27	9		9	1	5	1		19	1		1	4	4
	28	19		16		2	1		18	1		2		2
	29	14		1					14		2	3	8	7
	30	12		5	1			3	22	2			5	15
学 会 研 究 会	26	54	5	13	1	21	2	2	67	2	1	5	6	34
	27	20	3	18	7	21	4	3	60	1	1	5	2	9
	28	17		13	4	17		2	51	3		4	2	10
	29	17		18	5	15	2	1	18	1		1	6	25
	30	39	6	8	4	15	8	1	34	2		3	13	32
そ の 他	26	4	5	10				1	8				2	
	27			4	2	1			4		1		1	
	28		3			6		1	15				2	
	29		1	6	2	5		2	6	1			4	1
	30	2	1	4		2			6				4	

※ 「書籍」は「著書」と「書籍の章」の合算。「その他」には「講演会等」を含む。

# 績 統 計

眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	放 射 線 治 療 科	放 射 線 診 断 科	麻 酔 科	救 急 科	リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 科	歯 科 口 腔 外 科	検 査 科	薬 剤 部	看 護 部	医 療 安 全 管 理 室	ト 患 者 総 合 サ ポ ー ト セ ン タ ー	感 染 対 策 室	食 養 科	合 計
1				2	1		1								3 2 2 0
2	2		1				1	1	1	4 1 2 4 3					6 3 9 4
1 1 4	1 1		1		1		1 1 1 1								6 5 4 7
	1 1 1 1		1	5 1 1		1	3 1 1 1		1 1	2			1		16 23 9 3
3 1 3 3	2 3 4 7 8		2	4 4 8 7	3 11 3 5 6		6 9 2 2 3	1 6 3 4	2 3 1 4	2 3 5					97 97 79 86
3 1 6 2	16 21 23 22 27	4 2	4 5 7 6 5	13 8 6 15 5	34 36 21 15 23	5 5 1	14 6 3 2 3	8 6 3 6 1	4 8 4 5 1	9 9 10 9			1 1	5 1 1	327 256 201 196
1 1 5	5 1 3	1	3 2 7	2 9 8 10 10	17 5 1 7 7	3 14 1 8	10 17 18 17 19	16 3 2 1	15 7 12 9	1 25 30	10 25	11	1 10	5 7 6 4 5	120 101 121 66

## 1 当院における学位取得者

## 2 賞

### (1) 産科

林保良, 日本産科婦人科内視鏡学会杉本賞, 平成 30 年 8 月.

### (2) 耳鼻咽喉科

佐藤陽一郎, 2018 年慶應義塾大学医学部耳鼻咽喉科学教室最優秀論文賞, 平成 30 年 11 月.

島貫茉莉江, 2018 年慶應義塾大学医学部耳鼻咽喉科学教室若手論文賞, 平成 30 年 11 月.

### (3) 看護部

岡本朋江, 川崎市病院協会優良職員表彰, 平成 30 年 6 月.

増田光代, 川崎市病院協会優良職員表彰, 平成 30 年 6 月.

栗田勝子, 神奈川県看護師等要請実習病院連絡協議会表彰, 平成 30 年 6 月.

## 3 研究助成及び共同研究

### (1) 脳神経外科

植田良, 文部科学省科学研究費, 悪性脳腫瘍新生血管を治療標的としたペプチドワクチン療法の有効性予測因子の解明

### (2) 耳鼻咽喉科

今西順久, 文科省科学研究費 基盤研究 (C), 癌幹細胞維持機構と EMT (上皮間葉転換) を同時標的とする頭頸部癌転移治療の研究 (16K11245)

### (3) 放射線診断科

三宅博之, 狩野真之介, 我が国の小児 CT 検査で患児が受ける線量の実態調査 (2018).

### (4) 歯科口腔外科

安居孝純 (研究代表者), 中川種昭, 森川暁, 馬渕洋, 平成 28 年度科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金 基盤研究 C) 研究課題名: 高純度歯髄幹細胞の顎骨壊死治療への応用 補助事業期間: 平成 28 年度~平成 31 年度.

## 4 書籍の章

### (1) 乳腺外科

萬谷京子, メヂカルレポート アイデア市販化の経験, 神奈川, 神奈川県医師会, 2018; 神奈川県医師会報 (平成 30 年 11 月 10 日), p. 6-8.

### (2) 整形外科

西脇正夫, 髄内釘, 橈骨遠位端骨折を究めるー診療の実践 A to Z, 安部幸雄, 東京, 南江堂, 2019; 第 1 版, p. 88-94.

### (3) 小児科

土橋隆俊, Noonan 症候群, 小児・成育循環器学, 日本小児循環器学会, 東京, 診断と治療社, 2018; 第 1 版, p. 659-662.

### (4) 耳鼻咽喉科

今西順久, 18. 耳鼻咽喉科疾患 -46. 咽頭炎, 「私の治療 2019-2020」 (改訂版), 初版, (監修)

猿田享男, 北村惣一郎. 東京, 日本医事新報社, 2018

#### (4) 麻酔科

逢坂佳宗. 症例 10 肩関節腱板修復術を Q40 で周術期管理してください. 続・末梢神経ブロックの疑問～実践編～Q&A. 上嶋浩順. 東京, (株)中外医学社, 2018;第1版, p. 120-123.

逢坂佳宗. 持続カテーテル挿入のコツについて教えてください. 続・末梢神経ブロックの疑問～実践編～Q&A. 上嶋浩順. 東京, (株)中外医学社, 2018;第1版, p. 124-126.

## 5 論文

### (1) 内科・総合内科

Uchi T, Hakuno D, Fukae T, Takahashi M, Takiguchi S, Li HC, Nishizawa K, Nozaki H, Sueyoshi K. Armored Heart Because of Tuberculous Constrictive Pericarditis. *Circ Cardiovasc Imaging* 2019;12:doi:10.1161/CIRCIMAGING.118.008726

井上健太郎, 野間絵梨子, 津軽開, 脇坂悠介, 花田亮太, 松原祥平, 有泉健, 高木英恵, 玉井博修, 三原規奨, 折笠英紀, 杉浦仁, 相浦浩一. 腭上皮内癌類似の画像所見を呈した単純性膵嚢胞 (simple mucinous cyst) の 1 例. *Progress of Digestive Endoscopy*. 2018;92:174-175

松原祥平, 井上健太郎, 三原規奨, 野間絵梨子, 津軽開, 脇坂悠介, 花田亮太, 有泉健, 高木英恵, 玉井博修, 相浦浩一. 腭原発性腫瘍と鑑別困難であった有茎性壁外発育型胃 GIST の 1 例. *Progress of Digestive Endoscopy*. 2018;92:90-91.

松原祥平, 井上健太郎, 野間絵梨子, 津軽開, 脇坂悠介, 花田亮太, 有泉健, 高木英恵, 玉井博修, 相浦浩一. 幽門部潰瘍を契機に診断された先天性十二指腸狭窄の 1 成人例. *Progress of Digestive Endoscopy*. 2018;93:107-109.

中川原賢亮, 脇坂悠介, 井上健太郎, 有泉健, 高木英恵, 玉井博修, 野崎博之, 岡野裕, 秋月哲史, 杉浦仁. 急性肝炎様に発症し肝生検にて早期に診断し得た末梢性 T 細胞リンパ腫の一例. *川崎市医師会医学会誌*. 2018;35:1-4.

坂本光男. 【知っておきたいこと ア・ラ・カルト】カンピロバクター感染症. *Medical Practice*. 2018;35:650-652.

坂本光男. 抗菌薬適正使用支援チーム (AST) の存在意義. *Medical Practice*. 2018;36:152.

細田智弘. 【抗菌薬選択の実際-AMR(薬剤耐性)対策は日々の診療から】感染臓器・器官と起因菌を整理し, 抗菌薬治療を考える 市中感染症 尿路感染症. *内科* 2018;122:39-43.

坂本光男. 消化器内科. 感染と抗菌薬. 2018;21:15-20.

細田智弘, 三崎貴子, 清水英明, 岡部信彦, 坂本光男. チフス性疾患との鑑別に難渋したが地方衛生研究所との連携により診断に至った発疹熱. *感染症学雑誌*. 2018;92:391-396.

坂本光男. 消化器内科. 感染と抗菌薬. 2018;21:15-20.

津村和大. 【はじめよう!糖尿病診療リエゾンサービス～チーム医療の未来図～】チーム医療・地域連携のアウトカム評価. *月刊糖尿病*. 2018;10:105-111.

### (2) 小児科

及川裕之, 手塚朋子, 進藤淳也, 玉岡哲, 長田枝利香, 本田堯, 外山陽子, 荒木耕生, 檜林敦, 土橋隆俊, 番場正博. 急性脳症を発症した RS ウイルス感染症の 2 歳男児. *小児科*. 2018; 59: 457-461.

Shinjoh M, Sugaya N, Yamaguchi Y, Iibuchi N, Kamimaki I, Goto A, Kobayashi H, Kobayashi Y, Shibata M, Tamaoka S, Nakata Y, Narabayashi A, Nishida M, Hirano Y, Munenaga T, Morita K,



Mitamura K, Takahashi T; Keio Pediatric Influenza Research Group. Inactivated influenza vaccine effectiveness and an analysis of repeated vaccination for children during the 2016/17 season. *Vaccine*. 2018; 37: 5510-5518.

Miyata K, Kaneko T, Morikawa Y, Sakakibara H, Matsushima T, Misawa M, Takahashi T, Nakazawa M, Tamame T, Tsuchihashi T, Yamashita Y, Obonai T, Chiga M, Hori N, Komiyama O, Yamagishi H, Miura M; Post RAISE group. Efficacy and safety of intravenous immunoglobulin plus prednisolone therapy in patients with Kawasaki disease (Post RAISE): a multicentre, prospective cohort study. *Lancet Child Adolesc Health*. 2018;12: 855-862.

本田堯, 金子詩子, 鳥羽山寿子, 木内善太郎, 伊良部仁. 全身型若年性特発性関節炎の発祥の検査の考察 専門家へのアンケートを踏まえて. *小児リウマチ*. 2018; 9: 10-11.

長田枝利香, 及川裕之, 西恵美里, 進藤淳也, 玉岡哲, 本田堯, 外山陽子, 檜林敦, 土橋隆俊, 番場正博. ドロペリドールの硬膜外投与により錐体外路症状を呈した13歳男児. *小児科*. 2018; 59:1947-1950.

### (3) 新生児内科

坂井みのり, 金子絵名, 梶原久美子, 栗原伸芳, 森和広. *Staphylococcus lugdunensis* による臍静脈カテーテル感染から腹腔内感染を起こした超低出生体重児の1例, *日本周産期・新生児医学会雑誌*, 2018;54: 920-924.

### (4) 脳神経外科

Shibao S, Ueda R, Saito K, Kikuchi R, Nagashima H, Kojima A, Kagami H, Pareira ES, Sasaki H, Noji S, Kawakami Y, Yoshida K, Toda M. A pilot study of peptide vaccines for VEGF receptor 1 and 2 in patients with recurrent/progressive high grade glioma. *Oncotarget*. 2018; 20(9) : 21569-21579.

Oishi Y, Ueda R, Kuranari Y, Imanishi T. Vertebrobasilar Dolichoectasia Causing Symptomatic Hydrocephalus Due to Third Ventricular Compression. *J Stroke Cerebrovasc Dis*. 2018;27(12) :3503-3504.

Kikuchi R, Ueda R, Saito K, Shibao S, Nagashima H, Tamura R, Morimoto Y, Sasaki H, Noji S, Kawakami Y, Yoshida K, Toda M. A Pilot Study of Vaccine Therapy with Multiple Glioma Oncoantigen/Glioma

Angiogenesis-Associated Antigen Peptides for Patients with Recurrent/Progressive High-Grade Glioma. *J Clin Med*. 2019;8(2)

### (5) 整形外科

内田尚哉, 西本和正, 小柳貴裕. アライメントガイドを用いた大腿骨ステム設置の検討. *臨床雑誌 整形外科*. 2018; 69 : 1003-1006.

白石 建, 青山龍馬, 二宮 研, 海苔 聡, 上田誠司, 山根淳一, 北村和也, 鈴木悟士. 椎弓形成術アップデート 椎弓の切除幅を制限した選択的頸椎椎弓切除術は頸椎椎弓形成術特有の問題を回避し得る(解説). *臨床整形外科*. 2018;53-8 :675-684.

北村和也, 白石 建, 青山龍馬, 二宮 研, 山根淳一, 海苔 聡, 鈴木悟士, 上田誠司, 福田健太郎. イラストレイテッド・サージェリー 手術編 頸髄砂時計腫を安全に全摘出するための前後合併手術 椎弓根をヒンジとした脊柱管拡大方法(図説). *脊椎脊髄ジャーナル*. 2018;31:861-867.

Nori S, Shiraishi T, Aoyama R, Ninomiya K, Yamane J, Kitamura K, Ueda S. Upper cervical

lordosis compensates lower cervical kyphosis to maintain whole cervical lordosis after selective laminectomy. *J Clin Neurosci*. 2018 ;69:58-64.

Nori S, Shiraishi T, Aoyama R, Ninomiya K, Yamane J, Kitamura K, Ueda S. Extremely high preoperative C7 slope limits compensatory cervical lordosis after muscle-preserving selective laminectomy. *Eur Spine J*. 2018;27(8):2029-2037.

Nori S, Shiraishi T, Aoyama R, Ninomiya K, Yamane J, Kitamura K, Ueda S. Muscle-Preserving Selective Laminectomy Maintained the Compensatory Mechanism of Cervical Lordosis After Surgery. *Spine*. 2018;43(8):542-549.

Nori S, Shiraishi T, Aoyama R, Ninomiya K, Yamane J, Kitamura K, Ueda S. Posterior spinal cord shift does not affect surgical outcomes after muscle-preserving selective laminectomy. *J Clin Neurosci*. 2018;50:226-231.

藤田成人, 中道憲明. 『広範囲鍵盤断裂に対する広背筋移行術 (Habermeyer 法) の治療成績』. *臨床雑誌整形外科*. 2018;69:798-800.

小宮浩一郎, 山口 健治, 畑 亮介, 澤近 真文. 同側 THA、大腿骨顆上骨折術後の metallosis に対し、simulation model と Orthopaedic Salvage System が有用であった RA の 1 例. *日本人工関節学会誌*. 2018;48:635-636.

小宮浩一郎, 膝伸展機構損傷に対し、suture anchor (SwiveLock) を用いた knotless 縫合で 1 次修復を行った 2 例. *JOSKAS*. 2018;43 (2):512-513.

Hirai T, Yoshii T, Nagoshi N, Takeuchi K, Mori K, Ushio S, Iwanami A, Yamada T, Seki S, Tsuji T, Fujiyoshi K, Furukawa M, Nishimura S, Wada K, Furuya T, Matsuyama Y, Hasegawa T, Takeshita K, Kimura A, Abematsu M, Haro H, Ohba T, Watanabe M, Katoh H, Watanabe K, Ozawa H, Kanno H, Imagama S, Ando K, Fujibayashi S, Koda M, Yamazaki M, Matsumoto M, Nakamura M, Okawa A, Kawaguchi Y. Distribution of ossified spinal lesions in patients with severe ossification of the posterior longitudinal ligament and prediction of ossification at each segment based on the cervical OP index classification: a multicenter study (JOSL CT study). *BMC Musculoskeletal Disorders*. 2018;5;19(1).

Yoshii T, Hirai T, Iwanami A, Nagoshi N, Takeuchi K, Mori K, Yamada T, Seki S, Tsuji T, Fujiyoshi K, Furukawa M, Nishimura S, Wada K, Koda M, Furuya T, Matsuyama Y, Hasegawa T, Takeshita K, Kimura A, Abematsu M, Haro H, Ohba T, Watanabe M, Katoh H, Watanabe K, Ozawa H, Kanno H, Imagama S, Ando K, Fujibayashi S, Matsumoto M, Nakamura M, Yamazaki M, Okawa A, Kawaguchi Y. Co-existence of ossification of the nuchal ligament is associated with severity of ossification in the whole spine in patients with cervical ossification of the posterior longitudinal ligament -A multi-center CT study. *Journal of Orthopaedic Science*. 2019;24(1) :35-41.

西脇正夫. 【手のスポーツ外傷・障害】 疾患別治療・リハビリ・スポーツ復帰 TFCC 損傷. *臨床スポーツ医学*. 2018;35:254-257.

Gannon B, Lalone E, Nishiwaki M, Willing R, Johnson J, King GJW. Arthrokinematics of the distal radioulnar joint measured using intercartilage distance in an in vitro model. *J Hand Surg Am*. 2018;43:283 e1-283 e9.

Bessho Y, Nakamura T, Nishiwaki M, Nagura T, Matsumoto M, Nakamura M, Sato K. Effect of decrease

in radial inclination of distal radius fractures on distal radioulnar joint stability: a biomechanical study. *J Hand Surg Eur Vol.* 2018;43:967-973.

Padmore CE, Stoesser H, Nishiwaki M, Gammon B, Langohr GDG, Lalone EA, Johnson JA, King GJW. The Effect of Dorsally Angulated Distal Radius Deformities on Carpal Kinematics: An In Vitro Biomechanical Study. *J Hand Surg Am.* 2018;43:1036 e1-1036 e8.

Inaba N, Suzuki T, Iwamoto T, Matsumura N, Oki S, Nishiwaki M, Nakamura M, Matsumoto M, Sato K. Normal value and range of the humerus-elbow-wrist angle in a sample of healthy children with even distributions of age, sex, and laterality. *J Pediatr Orthop B.* 2019;28:57-61.

Gammon B, Lalone E, Nishiwaki M, Willing R, Johnson J, King GJW. The Effect of Dorsal Angulation on Distal Radioulnar Joint Arthrokinematics Measured Using Intercartilage Distance. *J Wrist Surg.* 2019;8:10-17.

岡崎真人, 田崎憲一, 佐藤和毅, 西脇正夫, 森田晃造. 舟状大菱形小菱形骨間(STT)関節障害に対する手術経験 関節固定術と舟状骨部分切除術との比較. *日本手外科学会雑誌.* 2018;35:130-135.  
美馬雄一郎, 藤田順之, 松本守雄, 中村雅也. Semaphorin 3A. *整形外科.* 2019;69:1330-1330.

#### (6) 形成外科

Sasaki K, Ohshiro T, Sakio R, Toriumi M, Hatano A, Fukazawa E, Kono T, Yoshihama K, Ogawa K, Ohshiro T. Efficacy of seasonal allergic rhinitis using an 810 nm diode laser system. *Laser Therapy.* 2019 ; 28(1) : 11-18.

工藤博雄, 永竿智久, 畑野麻子, 田中直子, 木下博之. 形成外科におけるバイオメカニクス研究の、法医学領域における応用経験. *日本形成外科学会会誌.* 2019 ; 39(2) : 52-57.

#### (7) 泌尿器科

Maeda T, Kikuchi E, Hasegawa M, Homma K, Yasumizu Y, Hattori S, Kosaka T, Shinoda K, Miyajima A, Oya M. Change of the  $5\alpha/5\beta$  ratio of urinary steroid metabolites in benign prostatic hyperplasia patients treated with dutasteride. *Clin Biochem.* 2018; 55:36-41.

Hiraki M, Maeda T, Mehrotra N, Jin C, Alam M, Bouillez A, Hata T, Tagde A, Keating A, Kharbanda S, Singh H, Kufe D. Targeting MUC1-C suppresses BCL2A1 in triple-negative breast cancer. *Signal Transduct Target Ther.* 2018;12:3-13.

Kayama E, Kikuchi E, Fukumoto K, Shirotake S, Miyazaki Y, Hakozaiki K, Kaneko G, Yoshimine S, Tanaka N, Takahiro M, Kanai K, Oyama M, Nakajima Y, Hara S, Monma T, Oya M. History of Non-Muscle-Invasive Bladder Cancer May Have a Worse Prognostic Impact in cT2-4aNOM0 Bladder Cancer Patients Treated With Radical Cystectomy. *Clin Genitourin Cancer.* 2018; 16:e969-e976.  
Matsumoto K, Niwa N, Hattori S, Takeda T, Morita S, Kosaka T, Mizuno R, Shinojima T, Kikuchi E, Asanuma H, Oya M. Establishment of the optimal follow-up schedule after radical prostatectomy. *Urol Oncol.* 2018; 36:341. e9-341. e14.

Masahiro Katsui, Takashi Ohigashi, Takeo Kosaka, Hideharu Bessho, Takashi Arakawa. Remarkable response to abiraterone acetate in castration-resistant prostate cancer patient with aggressive liver metastasis. *IJU Case Reports.* 2018; 2:open access.

#### (8) 産科・婦人科

玉川真澄, 樋口隆幸, 鈴木毅, 春日義史, 金善恵, 上野和典, 林保良, 中田さくら. 当院における妊娠合併卵巣嚢腫に対する全腹腔鏡下卵巣嚢腫切除術と腹腔鏡補助下卵巣嚢腫切除術の比較検討.

神奈川産科婦人科学会誌. 2018;54:143-147.

春日義史, 玉川真澄, 上野和典, 杉浦仁, 木挽貢慈, 中田さくら. 子宮内多嚢胞性超音波像として描出された水腫様流産の1例(図説). 超音波医学会. 2018;45:223-223.

春日義史, 玉川真澄, 鈴木毅, 金善恵, 樋口隆幸, 上野和典. 当院で周産期管理を施行した肥満妊婦における非妊時BMI別妊娠中体重増加量と出生体重の関連に関する検討. 日本周産期・新生児医学会雑誌. 2018;54:784-788.

春日義史, 林保良, 王洪欣, 吉村拓馬, 大橋千絵, 眞木順子, 鈴木毅, 金善恵, 樋口隆幸, 染谷健一, 中田さくら. 腹膜炎を繰り返した長期間留置子宮内避妊器具に対してLin式ポリープ鉗子で抜去した1例. 神奈川産科婦人科学会誌. 2018;55: 58-60.

春日義史, 玉川真澄, 鈴木毅, 金善恵, 樋口隆幸, 上野和典. 当院で対応した特定妊婦の実態. 日本周産期・新生児医学会雑誌. 2018;54:965-968.

染谷健一, 竹田貴, 吉村拓馬, 王洪欣, 大橋千絵, 眞木順子, 鈴木毅, 春日義史, 金善恵, 樋口隆幸, 林保良, 中田さくら. 腹腔鏡下子宮筋腫核出術中の内膜穿破時に摘出した内膜腫瘍から診断し得た、子宮内膜異型増殖症の1例. 神奈川産科婦人科学雑誌. 2019;55:51-55.

林保良, 中田さくら. 子宮筋腫・粘膜下筋腫 子宮鏡下核出術. 産婦人科の実際. 2018;67:267-274.

林 保良, 王洪欣, 吉村拓馬, 眞木順子, 大橋千絵, 中田さくら. 粘膜下筋腫、子宮内膜ポリープの子宮鏡下手術, On Fleek 産婦人科手術. 産婦人科の実際. 2018;67:1504-1510.

宋淳澤, 青野妙子, 奥山大輔, 鈴木明, 平林寧子, 林保良. 3回の子宮鏡下手術を経て子宮体癌の合併を認めた異型ポリープ状腺筋腫の1例. 産科と婦人科. 2018;85:1123-1128.

Chiyoda T, Lin BL, Someya K, Kiyokawa S, Nakada S. Hysteroscopic Transcervical Resection for Atypical Polypoid Adenomyoma of the Uterus: A Valid, Fertility-Preserving Option. J Minim Invasive Gynecol. 2018;25:163-169.

Cheng HY, Lin BL, Tseng JY, Ueno K, Nakada S. Clinical application of Lin's biopsy grasper for intrauterine targeted biopsy and polypectomy during office hysteroscopy. Taiwanese Journal of Obstetrics & Gynecology. 2018;57: 379-382.

Kiyokawa S, Chiyoda T, Ueno K, Saotome K, Kin SH, Nakada S. Development of pseudoaneurysm in cesarean section scar pregnancy : a case report and literature review. J Med Ultrason. 2018;45:357-362.

Kasuga Y, Kim SH, Suzuki T, Higuchi T, Nakada S. Is the risk of small for gestational age influenced by maternal body composition in young Japanese women?. J Matern Fetal Neonatal Med. 2018:1-3.

眞木順子, 林保良, 王洪欣, 吉村拓馬, 大橋千絵, 鈴木毅, 春日義史, 金善恵, 樋口隆幸, 染谷健一, 中田さくら. 子宮鏡手術を契機にKaufmann療法を中止したところ生児を得た早発卵巣不全の1例. 神奈川産科婦人科学雑誌. 2019;55:145-147.

吉村拓馬, 持丸佳之, 松尾若奈, 西山晴子, 須田梨紗, 秋好順子, 荒瀬透, 仲村健太郎, 遠藤拓, 倉崎昭子. 妊娠中期に水痘・带状疱疹ウイルスによる急性網膜壊死をきたし、治療中に胎児発育不全を認めた1例. 神奈川産科婦人科学雑誌. 2019;55:115-118.

#### (9) 耳鼻咽喉科

Sato Y, Imanishi Y, Tomita T, Ozawa H, Sakamoto K, Fujii R, Shigetomi S, Habu N, Otsuka K, Watanabe Y, Sekimizu M, and Ogawa K. Clinical diagnosis and treatment outcomes for

parapharyngeal space schwannomas: A single-institution review of 21 cases. *Head and Neck*. 2018; 40: 569-576.

Shimanuki M, Imanishi Y, Sato Y, Nakahara N, Totsuka D, Sato E, Iguchi S, Sato Y, Soma K, Araki Y, Shigetomi S, Yoshida S, Uno K, Ogawa Y, Tominaga T, Ikari Y, Nagayama J, Endo A, Miura K, Tomioka T, Ozawa H, and Ogawa K. B Pretreatment monocyte counts and neutrophil counts predict the risk for febrile neutropenia in patients undergoing TPF chemotherapy for head and neck squamous cell carcinoma. *Oncotarget*. 2018; 9: 18970-18984.

島貫茉莉江, 戸塚大輔, 中原奈々, 佐藤陽一郎, 今西順久. 頸部刺傷による鋭的気管損傷の治療経験. *日本耳鼻咽喉科学会会報*. 2018; 121: 912-919.

渡部佳弘, 今西順久, 小澤宏之, 岡本康秀, 佐藤陽一郎, 池真理, 竹林亜貴子, 小川郁. 咽喉頭癌経口切除後のトリアムシノロンアセトニド局所注射による咽頭狭窄予防. *頭頸部外科*. 2018; 28: 107-113.

Shigetomi S, Imanishi Y, Shibata K, Sakai N, Sakamoto K, Fujii R, Habu N, Otsuka K, Sato Y, Watanabe Y, Shimoda M, Kameyama K, Ozawa H, Tomita T, Ogawa K. VEGF-C/Flt-4 axis in tumor cells contributes to the progression of oral squamous cell carcinoma via upregulating VEGF-C itself and contactin-1 in an autocrine manner. *Am J Cancer Res*. 2018; 8: 2046-2063.

Higuchi S, Kabeya Y, Matsushita K, Tachibana K, Kawachi R, Takei H, Suzuki Y, Abe N, Imanishi Y, Moriyama K, Yorozu T, Saito K, Sugiyama M, Kondo H, Yoshino H. The study protocol for PREDICT AF RECURRENCE: a PROspEctive cohort stuDY of surveIllanCe for perioperaTive Atrial Fibrillation RECURRENCE in major non-cardiac surgery for malignancy. *BMC Cardiovasc Disord*. 2018; 18: 127.

Urano M, Hirai H, Tada Y, Kawakita D, Shimura T, Tsukahara K, Kano S, Ozawa H, Okami K, Sato Y, Fushimi C, Shimizu A, Takase S, Okada T, Sato H, Imanishi Y, Otsuka K, Watanabe Y, Sakai A, Ebisumoto K, Togashi T, Ueki Y, Ota H, Sato Y, Saigusa N, Nakaguro M, Hanazawa T, Nagao T. The high expression of FOXA1 is correlated with a favourable prognosis in salivary duct carcinomas: a study of 142 cases. *Histopathology*. 2018 ; 73 : 943-952.

松居祐樹, 山田浩之, 南隆二, 此枝生恵, 小川郁. 片側性副鼻腔疾患における自覚症状と画像所見の診断的有用性の検討. *日本耳鼻咽喉科学会会報*. 2019 ; 122 : 133-142.

#### (10) リハビリテーション科

阿部玲音. はじめてのリハビリ病棟看護ノート 廃用症候群. *リハビリナース*. 2019 ; 12 : 225-226.

#### (11) 放射線診断科

三宅博之 他. 散乱線除去グリッドの中間物質がイメージ改善係数に及ぼす影響. *日本放射線技術学会雑誌*. 2018; 74: 1186-1193.

三宅博之 他. 2015年度診断用X線装置アンケート調査. *日本放射線技術学会雑誌*. 2019; 75: 54-61.

#### (12) 麻酔科

安藤嘉門. 急性呼吸促迫症候群の生存者における筋肉量の調査: 1年間の多施設共同縦断的研究. *Critical Care Medicine 日本語版*. 2019; 3 (2): 4-5.

安藤嘉門. 敗血症性ショック患者に対する超早期理学療法が骨格筋に及ぼす影響: 無作為化比較対照試験. *Critical Care Medicine 日本語版* 2019; 3 (2): 8-9 .

Osaka Y, Morita Y. A Missing Tooth Found in the Nasal Cavity After an Attempt at Insertion

of a Nasogastric Tube: A Case Report. *A A Pract.* 2019; 3: 399-400.

Osaka Y, Morita Y. A case of 28 seconds asystole after a stimulus for modified electroconvulsive therapy. *J Clin Anesth.* 2018; 47: 3-3.

Osaka Y, Morita Y. Supraclavicular brachial plexus block is an alternative to pectoral nerve block 1 for contracture reconstruction post mastectomy. *J Clin Anesth.* 2018; 46: 12-12.

Osaka Y, Morita Y. Subcutaneous emphysema is not always actually in the subcutaneous plane. A Case of subfascial emphysema after laparoscopy. *J Clin Anesth.* 2018; 46:10-11.

Abe S, Osaka Y, Morita Y. Difficult Removal of a Nasogastric Tube Because of Knot Formation Around a Nasotracheal Tube: A Case Report. *A A Pract.* 2018; 1:184-185.

#### (13) 救急科

田熊清継. 感染症学の視点から読み解く救急・外科関連領域のガイドライン熱傷患者に発生する致命的な感染症日本熱傷学会による熱傷ガイドラインと熱傷入院患者レジストリ. *感染症学雑誌.* 2019; 93:43-44.

高井美智子, 竹島正, 日隈励, 田熊清継, 齋藤寿昭, 松田潔, 岸泰宏, 平泰彦, 古茶大樹, 張賢徳. 自殺統計の質の向上と、それを活用しての自殺対策の発展自損救急搬送と自殺企図、故意の自傷神奈川県川崎市における自損救急搬送事例調査を中心に. 自殺予防と危機介入. 2019; 39:35-40.

Abe T, Ogura H, Shiraishi A, Kushimoto S, Saitoh D, Fujishima S, Mayumi T, Shiino Y, Nakada TA, Tarui T, Hifumi T, Otomo Y, Okamoto K, Umemura Y, Kotani J, Sakamoto Y, Sasaki J, Shiraishi SI, Takuma K, Tsuruta R, Hagiwara A, Yamakawa K, Masuno T, Takeyama N, Yamashita N, Ikeda H, Ueyama M, Fujimi S, Gando S, JAAM FORECAST group. Characteristics, management, and in-hospital mortality among patients with severe sepsis in intensive care units in Japan: the FORECAST study. *Crit Care.* 2018; 22 : web.

Shirakawa K, Takebayashi T, Kanao K, Doi K, Takemura N, Shindo K, Saito Y, Takuma K. Basic life support by citizens in Kawasaki City, Japan - a descriptive epidemiological study of out-of-hospital cardiac arrest patients. *Acute Med Surg.* 2019; 6 : 117-122.

Sakane K, Yamaguchi F, Tsuchiya M, Kondo R, Kanayama N, Magari M, Hatano N, Kobayashi R, Tokumitsu H. Interaction of S100A6 with Target Proteins In Vitro and in Living Cells. *Methods Mol Biol.* 2019;1929:367-377.

藤網隆太郎, 白川和宏, 石田径子, 井上聡, 鳥海聡, 金子翔太郎, 土屋光正, 宮嶋和宏, 三吉貴大, 植松敬子, 金尾邦生, 春成学, 竹村成秀, 進藤健, 塩島裕樹, 荘司清, 齋藤豊, 田熊清継. ナツメグ中毒の1例. *日本救急医学会関東地方会雑誌.* 2018;39:285-287.

#### (14) 歯科口腔外科

Sato H, Asoda S, Muraoka W, Yoshikawa M, Yasui T, Horie N, Onizawa K, Nakagawa T.

Large odontogenic mixofibroma of the mandible excised without visible scar: A case report. *Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology.* 2018; 30:272-277.

軽部健史, 荒木大輔, 石井秀太郎, 鬼澤勝弘, 安居孝純, 吉田俊一. 下顎骨関節突起に生じステロイド性骨壊死が疑われた1例. *日本口腔外科学会雑誌.* 2019; 65: 93-98.

矢島祥助, 安居孝純, 軽部健史, 佐藤 仁, 筋生田整治, 鬼澤勝弘. 口腔に初発症状を認めた骨髄肉腫の1例. *日本口腔外科学会雑誌.* 2019; 65: 229-233.

(15) 検査科

井上健太郎, 野間絵梨子, 津軽開, 脇坂悠介, 花田亮太, 松原祥平, 有泉健, 高木英恵, 玉井博修, 三原規奨, 折笠英紀, 杉浦仁, 相浦浩一. 膣上皮内癌類似の画像を呈した単純性膣嚢胞 (simple mucinous cyst) の1例. Progress of Digestive endoscopy. 2018; 92: 174-176.

野間絵梨子, 井上健太郎, 花田亮太, 松原祥平, 有泉健, 玉井博修, 三原規奨, 杉浦仁, 相浦浩一. 閉塞性黄疸を契機に発見された腺腫主体の胆管ポリープ周囲に表層進展していた早期胆管癌の1例. Progress of Digestive endoscopy. 2018; 93(suppl): S96-S96.

長岡可楠子, 葉末亮, 有馬功一郎, 杉浦仁, 上野智敏, 乳原善文. ニボルマブ投与後尿細管炎が目立つ間質性腎炎を発症した肺癌患者の1例. 日本腎臓学会誌. 2018; 60: 904-904.

横屋瀬里香. 唾液腺腫瘍について (スライドカンファレンス症例3). 神奈川県臨床細胞学会誌. 2018; 23: 63-65.

(16) 薬剤部

小林岳. 臨床講座②クスリの教科書 抗菌薬適正使用への貢献. 月刊医療経営士. 東京. 日本医療企画. 2018;p34-35.

小林岳. 臨床講座②クスリの教科書 精神疾患②認知症医療最前線. 月刊医療経営士. 東京. 日本医療企画. 2019;p34-35.

井上彰大. 今求められる NST と薬剤師の役割 (105) 「当院 NST の発展と NST 担当薬剤師の活躍」. 週刊薬事新報. 薬事新報社. 東京, 2018; 3050. p.7-11.

吉田博史, 井口恵美子, 上原君男, 岡添進, 小田切正美, 小林岳, 関口信香, 大幸淳, 中村葉月, 藤田明宏, 若杉正, 金田昌之, 赤瀬朋秀. 薬剤部門における戦略マップの変遷に関する考察—外部環境の変化が薬剤部門の戦略に反映されているか—. 医療バランスト・スコアカード研究. 2018;15 (1) : 124-130.

## 6 学会・研究会

### (1) 内科・総合内科

深江智明, 鎌田龍明, 高橋賢至, 滝口俊一, 李慧崇, 伯野大彦, 西澤健也, 末吉浩一郎, 岡野裕, 野崎博之. 当院における PCPS を用いた心肺蘇生 (ECPR) の成績. 一般演題・ポスター. 第 115 回日本内科学会講演会. 平成 30 年 4 月. 京都.

堀内康平, 李昊, 扇野圭子, 田中希宇人, 大森奈緒, 佐山宏一. PD-L1 超高発現 (TPS80%以上) の非小細胞肺癌に対して免疫チェックポイント阻害薬を使用した 10 例の臨床的検討. 一般演題・ポスター. 第 58 回日本呼吸器学会学術講演会. 平成 30 年 4 月. 大阪.

小川卓範, 田中希宇人, 李昊, 堀内康平, 扇野圭子, 大森奈緒, 宮田純, 井上卓, 佐山宏一. ラニナミビル投与による薬剤性肺炎の 2 例の検討. 一般演題・ポスター. 第 58 回日本呼吸器学会学術講演会. 平成 30 年 4 月. 大阪.

李昊, 田中希宇人, 細尾真奈美, 堀内康平, 扇野圭子, 大森奈緒, 佐山宏一. 肺癌による癌性心膜炎を併発した 8 例の臨床学的特徴. 一般演題・ポスター. 第 58 回日本呼吸器学会学術講演会. 平成 30 年 4 月. 大阪.

三崎貴子, 窪村亜希子, 丸山絢, 細田智弘, 坂本光男, 中島由紀子, 長島悟郎, 國島広之, 竹村弘, 岡部信彦. 川崎市において短期間に経験した過粘調性クレブシエラ・ニューモニエ感染症の 6 例. 一般演題・口演. 第 92 回日本感染症学会学術集会. 平成 30 年 5 月. 岡山.

井上健太郎, 佐柳太一, 脇坂悠介, 花田亮太, 松原祥平, 三原規奨, 有泉健, 高木英恵, 玉井博修, 相浦浩一. 内視鏡治療前 CT では成因診断に至らなかった急性胆管炎の検討. 一般演題・口演. 第 95 回日本消化器内視鏡学会総会. 平成 30 年 5 月. 東京.

深江智明, 高橋賢至, 明神聡介, 鎌田龍明, 滝口俊一, 李慧崇, 伯野大彦, 西澤健也, 末吉浩一郎. FFR を測定し Defer するもわずか 3 か月半後に急性冠症候群を発症した一例. 一般演題・口演. 第 52 回日本心血管インターベンション治療学会関東甲信越地方会. 平成 30 年 5 月. 東京.

森岡紘子, 鈴木昂名, 上妻嵩英, 高田昌幸, 津村和夫. 細菌性肺炎の入院患者における糖尿病併存が及ぼす影響. 一般演題・口演. 第 61 回日本糖尿病学会年次学術集会. 平成 30 年 5 月. 東京.

松原祥平, 井上健太郎, 野間絵梨子, 津軽開, 脇坂悠介, 花田亮太, 有泉健, 高木英恵, 玉井博修, 相浦浩一. 胃幽門部潰瘍を契機に診断された先天性十二指腸狭窄症の 1 成人例. 一般演題・口演. 第 106 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会. 平成 30 年 6 月. 東京.

井上健太郎, 花田亮太, 松原祥平, 玉井博修, 相浦浩一. 総胆管結石除去術における ERCP 関連手技のトラブルシューティング ワークショップ. 第 106 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会. 平成 30 年 6 月. 東京.

野間絵梨子, 井上健太郎, 花田亮太, 松原祥平, 有泉健, 高木英恵, 玉井博修, 三原規奨, 杉浦仁, 相浦浩一. 閉塞性黄疸を契機に発見された腺腫主体の胆管ポリープ周囲に表層進展していた早期胆管癌の 1 例. 一般演題・口演. 第 106 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会. 平成 30 年 6 月. 東京.

阪口楓, 細田智弘, 坂本光男, 野崎博之. レジオネラ肺炎に可逆性脳梁膨大部病変を有する軽症脳炎・脳症 (MERS) を合併した一例. 一般演題・ポスター. 第 92 回日本感染症学会学術講演会. 第 66 回日本化学療法学会総会 合同学会. 平成 30 年 6 月. 岡山.

大草翔平, 岩瀬涼子, 臼井耕太郎, 布施彰久, 北園久雄, 岡野裕, 野崎博之, 大曾根康夫, 秋月哲史. 悪性腫瘍の関連が疑われた 91 歳発症の NMOSD の 1 例. 一般演題・口演. 第 642 回日本内科学



会関東地方会．平成30年6月．東京．

永田真夕，細田智弘，坂本光男，野崎博之．手足口病の家族歴を有する成人無菌性髄膜炎の3例．一般演題・口演．第92回日本感染症学会学術講演会．第66回日本化学療法学会総会 合同学会．平成30年6月．岡山．

内孝文，伯野大彦，鎌田龍明，深江智明，高橋賢至，滝口俊一，李慧崇，西澤健也，佐山宏一，野崎博之，岡野裕，末吉浩一郎．結核感染が原因と考えられる心機能低下、心膜炎をきたした一例．一般演題・口演．第248回日本循環器学会関東甲信越地方会．平成30年6月．東京．

深江智明，伯野大彦，明神聡介，鎌田龍明，高橋賢至，滝口俊一，李慧崇，西澤健也，野崎博之，末吉浩一郎．バルサルバ洞動脈瘤破裂に複数の構造的異常を合併し2段階に酸素飽和度が上昇した1例．一般演題・ポスター．第91回日本超音波医学会学術集会．平成30年6月．神戸．

島田史恵，松原祥平，花田亮太，久武祐太，井上健太郎，有泉健，高木英恵，玉井博修，岡野裕，野崎博之．Trisomy8陽性の骨髄異形成症候群（MDS）に腸管ペーチェット病様回腸病変を合併した1例．一般演題・口演．第643回日本内科学会関東地方会．平成30年7月．東京．

津村和大．国民健康・栄養調査の概説 糖尿病療養指導で求められる視点．第6回日本糖尿病療養指導学術集会．平成30年7月．京都．

田中希宇人．NSCLC StageⅢの治療とその課題．NSCLC StageⅢ in Kawasaki．平成30年8月．川崎．

田中希宇人．合併症を有する肺癌の治療戦略-症例 間質性肺炎合併肺腺癌-．川崎市肺癌講演会2018．平成30年8月．川崎．

花田亮太，井上健太郎，島田史恵，野間絵梨子，松原祥平，久武祐太，有泉健，高木英恵，玉井博修．地図状に発赤した浮腫状胃粘膜から気腫性胃炎を疑った1例．一般演題・口演．第351回日本消化器病学会関東支部例会．平成30年9月．東京．

田中希宇人．川崎病院におけるオプジーボ®の使用経験．Immuno-Oncology Conference in Kanagawa．平成30年9月．横浜．

原田林太郎，田中希宇人，阿瀬川周平，森田篤帆，篠崎太郎，扇野圭子，大森奈緒，佐山宏一，野崎博之，岡野裕．皮膚結節の生検から診断された肺大細胞神経内分泌癌の1例．一般演題・口演．第645回日本内科学会関東地方会．平成30年10月．東京．

及川紗由香，永田亮平，川合聡史，武井裕史，葉末亮，田口博章，大曾根康夫，萬谷京子，野崎博之，岡野裕．経過中に血球貪食症候群を発症しシクロスポリンが奏功した乳癌合併皮膚筋炎の1例．一般演題・口演．第645回日本内科学会関東地方会．平成30年10月．東京．

田中希宇人．増悪抑制から見たCOPDにおけるトリプル製剤の必要性．Small Clinical Conference～COPDガイドライン第5版の一步先を考える～．平成30年10月．東京．

深江智明，西澤健也，高橋賢至，滝口俊一，李慧崇，伯野大彦，末吉浩一郎．心原性ショックを伴う急性冠症候群を発症したCHIPに対して集学的治療を行った1例．一般演題・口演．第53回日本心血管インターベンション治療学会関東甲信越地方会．平成30年10月．東京．

長岡可楠子，葉末亮，有馬功一郎，杉浦仁，上野智敏，乳原善文．ニボルマブ投与後尿細管炎が目立つ間質性腎炎を発症した肺癌患者の1例．一般演題・ポスター．第48回日本腎臓学会東部学術大会．平成30年10月．東京．

金山芳郎，津村和大，細田智弘，坂本光男，野崎博之，有馬功一郎，岡野裕，大曾根康夫，秋月哲史．長期航海中に発症した糖尿病性ガス壊疽の1例．一般演題・口演．第646回日本内科学会関東

地方会. 平成 30 年 11 月. 東京.

松井友哉, 相馬裕樹, 北菌久雄, 布施彰久, 岡野裕, 野崎博之, 大曾根康夫, 秋月哲史. 回復期リハビリテーション病院入院中に発症したウェルニッケ脳症の 1 例. 一般演題・口演. 第 646 回日本内科学会関東地方会. 平成 30 年 11 月. 東京.

森田 篤帆, 田中 希宇人, 片山 真, 阿瀬川 周平, 篠崎 太郎, 扇野 圭子, 大森 奈緒, 佐山 宏一. 癌性髄膜炎に対して PEM+BEV 維持療法と MTX 髄注療法で長期生存が得られている EGFR 陽性進行肺腺癌の 1 例. 肺癌制御医学セミナー 2018. 平成 30 年 11 月. 東京.

田中希宇人, 扇野圭子, 阿瀬川周平, 森田篤帆, 篠崎太郎, 大森奈緒, 佐山宏一. 進行肺腺癌に対する免疫チェックポイント阻害薬の実臨床における治療効果予測因子の検討. 一般演題・ポスター. 第 59 回日本肺癌学会学術集会. 平成 30 年 11 月. 東京.

大草翔平, 島田史恵, 石垣 星, 阿瀬川周平, 森田篤帆, 篠崎太郎, 布施彰久, 北菌久雄, 岡野裕, 野崎博之, 大曾根康夫, 秋月哲史. 悪性腫瘍の関連が疑われた 91 歳発症の NMOSD の 1 例. 一般演題・口演. 第 54 回神奈川県内科集談会. 平成 30 年 11 月. 横浜.

田中希宇人. 川崎病院における非小細胞肺癌に対するニボルマブの使用経験. がんサポーターブク in Kawasaki. 平成 30 年 11 月. 川崎.

森田すみれ, 松原祥平, 花田亮太, 久武祐太, 井上健太郎, 有泉健, 高木英恵, 玉井博修, 岡野裕, 野崎博之. 生検にて腺癌成分の混在を認めた多発肝転移を伴う胃神経内分泌細胞癌の 1 例. 一般演題・口演. 第 647 回日本内科学会関東地方会. 平成 30 年 12 月. 東京.

田中希宇人. 統計解析の基礎～一緒に CheckMate057 試験を読み解こう～. 相模原がん免疫塾-統計を知ると面白い-. 平成 30 年 12 月. 相模原.

加藤恭介, 深江智明, 西澤健也, 永田亮平, 外山高朗, 扇野圭子, 末吉浩一郎, 岡野裕, 野崎博之, 大曾根康夫. 右房浸潤を伴う悪性リンパ腫に合併した洞不全症候群に対して化学療法中にペースメーカー植込みを行った 1 例. 一般演題・口演. 第 648 回日本内科学会関東地方会. 平成 31 年 2 月. 東京.

石垣星, 伯野大彦, 深江智明, 高橋賢至, 滝口俊一, 李慧崇, 西澤健也, 扇野圭子, 佐山宏一, 野崎博之, 岡野裕, 森厚夫, 末吉浩一郎. 原発性肺低換気症候群に合併した自律神経障害による洞不全症候群疑いの 1 例. 一般演題・口演. 第 251 回日本循環器学会関東甲信越地方会. 平成 31 年 2 月. 東京.

田中希宇人. 川崎南地区における COPD 病診連携の課題と今後の展望を考える. COPD Forum in KAWASAKI. 平成 31 年 2 月. 川崎.

## (2)精神科

鹿島美納子. 精神疾患を有した特定妊婦と出生児の転帰・支援についての検討. 第 38 回日本社会精神医学会, 平成 31 年 3 月, 東京

三浦孝政. Psychopharmacological treatment and length of stay in psychiatric hospitals among patients with schizophrenia: a systematic review. 第 31 回国際神経精神薬理学会. 平成 30 年 6 月. ウィーン (オーストリア)

熊谷迪亮. Placebo Effects in Long-Acting Injection Trials for Schizophrenia: Combined Analysis of Four RCTs. 第 31 回国際神経精神薬理学会. 平成 30 年 6 月, ウィーン (オーストリア).

熊谷迪亮. 抗精神病薬持効注射剤の治療におけるプラセボ反応を予測する因子の検討: 無作為化

比較試験 4 報を用いた事後解析. 第 28 回日本臨床精神神経薬理学会・第 48 回日本神経精神薬理学会合同年会. 平成 30 年 11 月. 東京

齋藤雄太. Prediction of Relapse with Residual Symptoms in Schizophrenia:A Reanalysis of the PROACTIVE trial data. 第 31 回国際神経精神薬理学会. 平成 30 年 6 月. ウィーン (オーストリア)

齋藤雄太. 統合失調症の残存症状による再発予測: PROACTIVE 研究の再解析. 第 28 回日本臨床精神神経薬理学会・第 48 回日本神経精神薬理学会合同年会. 平成 30 年 11 月. 東京

### (3) 小児科

西恵美里, 進藤淳也, 玉岡哲, 長田枝利香, 及川裕之, 江原和美, 本田堯, 外山陽子, 檜林敦, 土橋隆俊, 藤岡憲一郎, 番場正博. 誘引なく発症した新生児鎖骨骨髄炎の 1 例. 口演. 日本小児科学会神奈川地方会. 平成 30 年 6 月. 神奈川

多喜萌, 荒木耕生, 安原潤, 古道一樹, 前田潤, 福島裕之, 山岸敬幸, 吉田祐, 岩下憲行. 超低出生体重児における慢性肺疾患とそれに伴う肺高血圧症の発症についての検討. 口演. 第 54 回日本小児循環器学会総会・学術集会. 平成 30 年 7 月. 横浜

西恵美里. 陽陰圧体外式人工呼吸器 (BCV) による排痰が奏功した B 型インフルエンザ感染による鑄型気管支炎. 口演. 第 51 回日本小児呼吸器学会. 平成 30 年 9 月. 札幌

有安大典. 優性遺伝性 GH1 遺伝子異常症モデルマウスの GH 分泌不全には核内 BBF2H7 の発現低下が関与す. 口演. 第 52 回日本小児内分泌学会学術集会. 平成 30 年 10 月. 東京

檜林敦. 電子カルテ Expo2018 他院の事例から学ぶ 『医療安全』 最後の砦 看護師の実施間違いを防ぐ取り組み. 口演. 第 38 回医療情報学連合大会. 平成 30 年 11 月. 福岡

多喜萌. 発達障害児の家庭への早期介入の必要性. 口演. 第 7 回日本小児診療多職種研究会. 平成 30 年 11 月. 福岡

本田堯, 土橋隆俊, 番場正博, 大方詩子, 渡邊恵美子, 宮川俊一, 杉浦仁, 稲葉豊, 神人正寿, 井澤和司, 邊見弘明, 改正恒康, 三嶋博之, 木下晃, 吉浦考一郎, 金澤伸雄. 乳児期から発熱と凍瘡様皮疹を反復し, 新規のインターフェロン調節遺伝子異常が疑われた親子例. 口演. 第 2 回日本炎症学会. 平成 31 年 2 月. 東京

檜林敦. 最後の砦 看護師の実施間違いを防ぐ取り組み. 口演. 関東医療情報技師会 第 26 回. 平成 31 年 2 月. 東京

### (4) 新生児内科

金子絵名, 坂井みのり, 梶原久美子, 古川律子, 森和広. 新生児一過性高インスリン血症から低血糖脳症を来したと考えられた一例. 一般演題, 第 54 回日本周産期・新生児医学会, 平成 30 年 7 月, 東京

梶原久美子, 金子絵名, 坂井みのり, 古川律子, 森和広. 不適切な育児環境により広汎性発達障害 (PDD) の診断が遅れた 3 人同胞例. 一般演題, 第 54 回日本周産期・新生児医学会, 平成 30 年 7 月, 東京

古川律子, 宮武瑛里, 金子絵名, 坂井みのり, 梶原久美子, 森和広. コントロール不良 Basedow 病母体から出生した中枢性甲状腺機能低下症の一例. 一般演題, 第 63 回日本新生児成育医学会, 平成 30 年 11 月, 東京

宮武瑛里, 金子絵名, 坂井みのり, 梶原久美子, 古川律子, 森和広. 当院における過去 10 年間の墜落分娩児 27 例の検討. 一般演題, 第 63 回日本新生児成育医学会, 平成 30 年 11 月, 東京

(5) 外科

萬谷京子, 夏錦言. 右側臥位で行った超音波検査で描出しえた左C領域の乳癌の1例. ポスター, 第26回日本乳癌学会学術総会. 平成30年5月. 京都.

Mihara Kisyō, Aiura Koichi, Sito Masaya. 多発性結腸肝転移の自然完全退縮 1症例報告 (Spontaneous complete regression of multiple colonic liver metastases: A case report). 第30回日本肝胆膵外科学会・学術集会. 平成30年6月. 横浜市.

塩味慶子. 「80歳以上の高齢者胃癌患者における術後合併症リスク因子に関する検討」. 第47回神奈川消化器外科研究会. 平成30年6月.

塩味慶子, 市東昌也, 井上正純, 小田秀奈, 菊池弘人, 三原規奨, 和多田 晋, 萬谷京子, 夏錦言, 相浦浩一. 十二指腸 GIST の2切除例. ポスター, 第73回日本消化器外科学会総会. 平成30年7月. 鹿児島.

田中優衣. 肝門部胆管原発の神経内分泌癌の1例. ポスター, 第73回日本消化器外科学会総会. 平成30年7月. 鹿児島.

三原規奨, 相浦浩一, 井上正純, 小田秀奈, 菊池弘人, 夏錦言, 市東昌也. 胆道原発の神経内分泌癌の3例. ポスター. 第73回日本消化器外科学会総会. 第73回日本消化器外科学会総会. 平成30年7月. 鹿児島.

Kyoko Yorozuya, Chihaya Maeda, Yasuyuki Kanamoto, Takahiro Gunji, Keiko Shiomi, Yuji Kikuchi, Takayuki Kondo, Hidena Oda, Kisyō Mihara, Susumu Watada, Kingen Natsu, Koichi Aiura, Tomomi Sato, Seiichiro Ishii, Masaya Shito. Metastasis to non-sentinel lymph node could be found in the patients diagnosed as having clinical Tis-T2N0 hormone receptor-positive primary breast cancer with macrometastasis to one sentinel lymph node. Poster. International Sentinel Node Society Biennial Meeting 2018. 2018年10月. Tokyo.

萬谷京子, 金本徳之, 前関智早, 塩味慶子, 郡司崇裕, 近藤崇之, 菊池勇次, 小田秀奈, 三原規奨, 和多田晋, 夏錦言, 相浦浩一, 市東昌也. 摘出生検後の非浸潤性乳管癌に対してセンチネルリンパ節生検を行った経験. 第20回 SNNS 研究会学術集会. 平成30年10月. 東京.

郡司崇裕, 三原規奨, 相浦浩一, 菊池勇次, 近藤崇之, 萬谷京子, 夏言, 市東昌也. 腹腔鏡下胆嚢摘出術における Critical view of safety の術野作製困難例の評価. 第31回日本内視鏡外科学会. 平成30年12月. 福岡.

内田絢子, 近藤崇之, 菊池勇次, 三原規奨, 夏錦言, 相浦浩一, 市東昌也. 呼吸機能障害を伴う胃癌患者に対する腹腔鏡手術の有用性. 第31回日本内視鏡外科学会. 平成30年12月. 福岡.

三原規奨, 相浦浩一, 近藤崇之, 菊池勇次, 夏錦言, 市東昌也. 腹腔鏡下胆嚢摘出術に対するインターナルオーガントラクターを用いた Reduced-Port Surgery. 第31回日本内視鏡外科学会. 平成30年12月. 福岡.

萬谷京子, 石井誠一郎, 佐藤知美, 夏錦言. 中間悪性の葉状腫瘍の疑いで摘出手術を施行し、術後にデスマイド腫瘍と確定診断した1例. 第15回日本乳癌学会関東地方会. 平成30年12月. 大宮市. 菊池勇次, 夏錦言, 郡司崇裕, 近藤崇之, 三原規奨, 相浦浩一, 市東昌也. 食道裂孔ヘルニアを伴った成人急性胃軸捻転症の一例. 第31回日本内視鏡外科学会. 平成30年12月. 福岡.

間崎 光, 和多田 晋, 塩味慶子, 井上正純, 菊池弘人, 萬谷京子, 夏錦言, 市東昌也. 診断が遅れたが腸管壊死に至らなかった上腸間膜動脈塞栓症の1例. 第55回日本腹部救急医学会総会. 平成31年3月. 仙台市.

前田智早, 菊池勇次, 近藤崇之, 三原規煥, 和多田 晋, 萬谷京子, 夏 錦言, 相浦浩一, 市東昌也.  
転落外傷による外傷性小腸穿孔の一例. 第 55 回日本腹部救急医学会総会. 平成 31 年 3 月. 仙台市.

(6) 呼吸器外科

井澤菜緒子, 金本徳之, 中道憲明, 澤藤誠, 自然気胸術後に上肢挙上困難と翼状肩甲を呈した 1 例.  
示説. 第 35 回日本呼吸器外科学会総会・学術集会. 平成 30 年 5 月. 千葉.

金本徳之, 澤藤誠, 井澤菜緒子. 気管支鏡下高周波治療後に下葉管状切除を行った高齢者肺癌の 1 例.  
示説. 第 35 回日本呼吸器外科学会総会・学術集会. 平成 30 年 5 月. 千葉.

澤藤誠, 井澤菜緒子, 金本徳之. 肺癌術後に発見された第 2 肺癌 (異時性多発癌・再発癌) に対する治療成績. 示説. 第 35 回日本呼吸器外科学会総会・学術集会. 平成 30 年 5 月. 千葉.

成毛聖夫. 胸腔鏡下肺部分切除後に切除断端再発を認めた非小細胞肺癌症例の検討. 示説. 第 35 回日本呼吸器外科学会総会・学術集会. 平成 30 年 5 月. 千葉.

澤藤誠, 井澤菜緒子, 扇野圭子, 田中希宇人, 大森奈緒, 佐山宏一. 直腸癌気管支転移に対し、気管支鏡下高周波治療と化学療法により、長期生存を得ている 1 例. 示説. 第 41 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会. 平成 30 年 5 月. 東京.

成毛聖夫, 荒川健一, 中野泰, 加行淳子, 西尾和三. 気管支鏡下高周波電気焼灼による気管支型平滑筋腫の 1 治療例. 示説. 第 41 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会. 平成 30 年 5 月. 東京.

成毛聖夫, 渡辺真純. 肺嚢胞の経過観察により発見し得たのう胞壁に発生した扁平上皮癌の 1 切除例. 示説. 第 59 回日本肺癌学会学術集会. 平成 30 年 11 月. 東京.

前田智早, 井澤菜緒子, 成毛聖夫, 澤藤誠. 2 度の切除術を施行し長期無再発生存を得ている原発不明縦隔リンパ節癌の 1 例. 示説. 第 59 回日本肺癌学会学術集会. 平成 30 年 11 月. 東京.

(7) 脳神経外科

植田 良. 当院における経鼻内視鏡手術症例の検討. 口演 (一般演題). 第 5 回内視鏡・頭蓋底手術研究会. 平成 30 年 11 月. 東京.

(8) 整形外科

青山 龍馬, 白石 建, 二宮 研, 海苔 聡, 鈴木 悟士, 穴澤 卯圭, 堀田 拓, 上田 誠司, 加藤 匡裕, 山根 淳一, 北村 和也. 頭側の Extension Unit の温存は術後頸椎前彎の維持に重要である. 口演. 日本脊椎脊髄病学会. 平成 30 年 4 月. 神戸.

海苔 聡, 白石 建, 青山 龍馬, 二宮 研, 山根 淳一, 北村 和也, 上田 誠司. 筋温存型選択的頸椎椎弓切除術後の下位頸椎の後彎変化は上位頸椎の前彎変化により代償され全頸椎アライメントが保持される. 口演. 日本脊椎脊髄病学会. 平成 30 年 4 月. 神戸.

西脇正夫, 清田康弘, 寺坂幸倫, 稲葉尚人, 別所祐貴, 堀内行雄. 橈骨遠位端関節内骨折に対する単軸性ロッキングプレートと多軸性ロッキングプレートの前向き無作為化比較研究—術後 1 年成績比較—. 口演. 第 61 回日本手外科学会学術集会. 平成 30 年 4 月. 東京.

清田康弘, 西脇正夫, 寺坂幸倫, 稲葉尚人, 別所祐貴, 堀内行雄. 橈骨遠位端関節内骨折に対する掌側ロッキングプレート固定術後の橈骨手根関節と手根中央関節の屈伸可動域の経時的変化. 口演. 第 61 回日本手外科学会学術集会. 平成 30 年 4 月. 東京.

岡崎真人, 田崎憲一, 佐藤和毅, 西脇正夫, 森田晃造. 舟状大菱形小菱形間 (STT) 関節障害に対する手術経験—関節固定術と舟状骨部分切除術との比較. 口演. 第 61 回日本手外科学会学術集会. 平成 30 年 4 月. 東京.

中村俊康, 阿部耕治, 山部英行, 西脇正夫, 寺田信樹. 尺側手根伸筋腱半裁腱を用いた手関節 TFCC

再建術における骨孔の観察。口演。第61回日本手外科学会学術集会。平成30年4月。東京。

中村俊康, 阿部耕治, 寺田信樹, 西脇正夫, 山部英行. 尺側手根伸筋腱半裁腱を用いた手関節 TFCC 再建術の最良の適応と治療の実際。パネルディスカッション。第61回日本手外科学会学術集会。平成30年4月。東京。

美馬雄一郎, 藤田順之, 鈴木悟士, 藤井武, 渡邊航太, 辻崇, 宮本健史, 松本守雄, 中村雅也. 椎間板変性における semaphorin 3A の発現制御メカニズム。一般演題。第47回日本脊椎脊髄病学会。平成30年4月。神戸。

美馬雄一郎, 藤田順之, 八木満, 岡田英次郎, 名越慈人, 辻収彦, 中村雅也, 松本守雄, 渡邊航太. 成人脊柱変形例に対する側方経路腰椎椎体間固定術の周術期出血量の検討。ポスター発表。第47回日本脊椎脊髄病学会。平成30年4月。神戸。

Nishimura S, Takano M, Kawabata S, Fujii T, Ishimine Y, Fujita N, Nakamura M, Matsumoto M, Watanabe K, Kamata M. Comparison of different spinal cage materials and bone graft techniques for posterior lumbar interbody fusion. ポスター発表。45th ISSLS Annual Meeting. 平成30年5月。Banff, Canada.

Mima Y, Fujita N, Suzuki S, Fujii T, Watanabe K, Tuji T, Miyamoto T, Matsumoto M, Nakamura M. Role of semaphorin 3A in intervertebral disc degeneration. ポスター発表。The 45th International Society for the Study of the Lumbar Spine (ISSLS) . 平成30年5月。Banff, Canada.

小宮浩一郎, 澤近真文. 離断性骨軟骨炎(大腿骨外顆後方)に自家培養軟骨(ジャック)移植を行った1例の病理組織学的検討 術後1年と2年の比較。ポスター発表。第10回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会。平成30年6月。福岡。

澤近真文, 小宮浩一郎. BCG膀胱内注入療法後に起こったライター症候群の1例。ポスター発表。第10回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会。平成30年6月。福岡。

西脇正夫, 稲葉尚人, 別所祐貴. 背側転位型橈骨遠位端関節内骨折に対する単軸性/多軸性ロッキングプレートの前向き無作為化比較研究。口演。第44回日本骨折治療学会学術集会。平成30年7月。岡山。

谷口文則, 中山ロバート, 関田哲也, 浅野尚文, 亀山香織, 中村雅也, 松本守雄. 悪性腫瘍との鑑別に難渋した小転子剥離骨折に伴う慢性拡張性血腫の1例。口演。東日本整形災害外科学会。平成30年9月。秋田。

Nishiwaki M, Kiyota Y, Inaba N, Bessho Y, Horiuchi Y. A Prospective Randomized Comparison of Variable-Angle and Fixed-Angle Volar Locking Plating for Dorsally Displaced Unstable Intra-articular Distal Radial Fractures. e-poster. The 73th annual meeting of the American Society for Surgery of the Hand. 平成30年9月。Boston.

美馬雄一郎, 藤田順之, 八木満, 岡田英次郎, 鈴木悟士, 名越慈人, 辻収彦, 中村雅也, 松本守雄, 渡邊航太. 成人脊柱変形例に対する XLIF における Hidden blood loss の検討。一般演題。第67回東日本整形災害外科学会。平成30年9月。秋田。

美馬雄一郎, 藤田順之, 八木満, 岡田英次郎, 鈴木悟士, 名越慈人, 辻収彦, 中村雅也, 松本守雄, 渡邊航太. 成人脊柱変形例に対する XLIF の Hidden Blood Loss の検討。一般演題。第27回日本脊椎インストゥルメンテーション学会。平成30年9月。東京。

辻阪 亮介, 西村 空也, 上田 誠司, 澤近 真文, 久島 雄宇, 小柳 貴裕, 森岡 秀夫. 斜頸を主訴

に脳腫瘍の診断に至った1例(会議録/症例報告). 口演. 関東整形災害外科学会. 平成30年10月. 東京.

西村空也, 高野盛登, 川端走野, 藤井武, 伊志嶺洋平, 藤田順之, 中村雅也, 松本守雄, 渡辺航太, 鎌田修博. 腰椎後方椎体間固定術におけるブロック骨移植は術後の椎体間ケージの沈み込みを予防しうる. ポスター発表. 第26回日本腰痛学会. 平成30年10月. 浜松.

辻阪亮介, 西脇正夫, 清田康弘, 久島雄宇, 中道憲明, 堀内行雄. 腕相撲で生じた橈骨近位骨幹部骨折の一例. 口演. 第24回神奈川上肢外科研究会. 平成30年10月. 横浜.

美馬雄一郎, 藤田順之, 鈴木悟士, 藤井武, 渡辺航太, 辻崇, 宮本健史, 千葉一裕, 松本守, 中村雅也. Semaphorin 3Aの椎間板変性に対する抑制効果. 一般演題. 第33回日本整形外科学会基礎学術集会. 平成30年10月. 奈良.

Nishiwaki M. Biomechanics of Distal Radius Malunion . 教育研修講演. The 4th Annual Congress of Asia-Pacific Wrist Association & 11th Japanese Wrist Surgery Workshop. 平成30年11月. 成田.

美馬雄一郎, 藤田順之, 八木 満, 岡田英次郎, 鈴木悟士, 名越慈人, 辻 収彦, 中村雅也, 松本守雄, 渡辺航太. 思春期特発性側弯症に対する後方矯正固定術における hidden blood loss. 一般演題. 第52回日本側弯症学会学術集会. 平成30年11月. 東京.

美馬雄一郎, 藤田順之, 八木満, 岡田英次郎, 鈴木悟士, 名越慈人, 辻収彦, 中村雅也, 松本守雄, 渡辺航太. 成人脊柱変形例に対するXLIFにおけるHidden blood loss (HBL)の検討. 一般演題. 第21回日本低侵襲脊椎外科学会学術集会. 平成30年11月. 東京.

西脇正夫. 橈骨遠位端 marginal fracture に対して近位設置型単軸性掌側ロッキングプレートを用いた症例の検討. 口演. 第3回橈骨遠位端骨折を語る会. 平成31年1月. 東京.

美馬雄一郎, 藤田順之, 八木満, 岡田英次郎, 鈴木悟士, 名越慈人, 辻収彦, 中村雅也, 松本守雄, 渡辺航太. 成人脊柱変形例に対する側方経路椎体間固定術の周術期出血量の検討. 招待講演. 第5回日本脊椎前方側方進入手術研究会 (JALAS). 平成31年1月. 東京.

西脇正夫, 久島雄宇, 木村洋朗, 大木聡, 鈴木拓, 岩部昌平, 堀内行雄. 青壮年のC3.3橈骨遠位端骨折に対する治療戦略. シンポジウム. 第34回東日本手の外科学研究会. 平成31年2月. 新潟.

西脇 正夫, 岡崎 真人, 久島雄宇, 田崎 憲一, 堀内 行雄. 橈骨頭粉碎骨折を伴った肘関節 terrible triad injury の治療成績. パネルディスカッション. 第31回日本肘関節学会学術集会. 平成31年2月. 小樽.

久島雄宇, 西脇正夫, 堀内行雄. 上腕二頭筋遠位部腱部分断裂を生じた橈骨粗面骨軟骨腫の1例. ポスター発表. 第31回日本肘関節学会学術集会 . 平成31年2月. 小樽.

辻阪亮介, 西脇正夫, 清田康弘, 久島雄宇, 堀内行雄. 腕相撲による橈骨近位骨幹部骨折の一例 . ポスター発表. 第31回日本肘関節学会学術集会 . 平成31年2月. 小樽.

Mima Y, Fujita N, Suzuki , Fujii T, Watanabe K, Tsuji T, Horiuchi K, Miyamoto T, Matsumoto M, and Nakamura M. Potential Involvement of Semaphorin 3A in Maintaining Tissue Homeostasis of Intervertebral Disc. ポスター発表. 65th Orthopaedic Research Society (ORS) . 平成31年2月. Austin, TX, USA.

小宮浩一郎, 中村一喜, 澤近真文. 透析患者におけるTKAの問題点. ポスター発表. 第49回日本人工関節学会. 平成31年2月. 東京.

中道憲明. 広範囲腱板断裂に対する広背筋移行術 (Harbermeyer 法) の治療成績. シンポジウム.

第 59 回関東整形災害外科学会. 平成 31 年 3 月. 東京.

(9) 形成外科

畑野麻子. 眼窩外側壁への衝撃の方向と発生する骨折の関係. 一般口演, 日本形成外科学会基礎学術集会. 平成 30 年 10 月, 東京.

畑野麻子. 眼窩周囲への衝撃負荷と骨折の広がり～視神経管骨折との関連性について. 一般口演, 日本形成外科学会総会・学術集会, 平成 31 年 4 月, 福岡.

(10) 皮膚科

渡辺絵美子, 大方詩子, 久保亮治, 亀山香織, 梅垣知子, 宮川俊一, イミキモド外用後に生じた尋常性乾癬の 1 例. 一般演題, 第 117 回日本皮膚科学会総会, 平成 30 年 5 月, 広島.

倉地祐之眞, 渡辺絵美子, 宮川俊一, 前胸部に多発した piloleiomyoma の 1 例. 症例報告, 第 878 回日本皮膚科学会東京支部東京地方会, 平成 30 年 5 月, 川崎.

倉地祐之眞, 渡辺絵美子, 小林正規, 田島誠也, 宮川俊一, 皮膚マンソン孤虫症の 1 例. 症例報告, 第 882 回日本皮膚科学会東京支部東京地方会, 平成 31 年 1 月, 横浜.

(11) 泌尿器科

前田高宏, 小坂威雄, 伊藤祐次郎, 長田浩彦, 中村聡, 大家基嗣. 前立腺癌患者に対する degarelix 投与時の注射部位反応の予防法の検討. 口演. 第 18 回日本抗加齢医学会. 平成 30 年 5 月. 大阪.

前田高宏, 富田益臣, 中澤敦, 酒井元, 船越信介, 小松田明里, 伊藤祐次郎, 長田浩彦, 塚田信廣, 中村聡. 女性患者における機能性便秘と過活動膀胱との関連性. 口演. 第 18 回日本抗加齢医学会. 平成 30 年 5 月. 大阪.

前田高宏, 菊地栄次, 本間桂子, 長谷川政徳, 森田伸也, 小坂威雄, 水野隆一, 篠島利明, 浅沼宏, 大家基嗣. Dutasteride 内服後の尿中ステロイドプロファイルの経時的变化の検討. 口演. 第 19 回日本内分泌学会関東甲信越支部学術集会. 平成 30 年 9 月. 東京.

勝井政博, 小澤佑, 木下水葵, 服部盛也, 前田高宏, 原智. 当院における 30W 低出力機器による HoLEP の初期導入治療成績. 口演. 第 70 回 西日本泌尿器科学会総会. 平成 30 年 11 月. 長崎.

服部盛也, 小澤佑, 木下水葵, 勝井政博, 金子剛, 前田高宏, 原智. 当院における腎細胞癌に対するニボルマブの初期治療経験. ポスター. 第 83 回 日本泌尿器科学会東部総会. 平成 30 年 10 月. 東京.

馬場優人, 荒川孝, 別所英治, 大東貴志, 越田竹朗, 丹羽直也, 勝井政博, 小松田明里. 2cm 以上の腎結石に対する f-TUL の治療成績. ポスター. 第 106 回 日本泌尿器科学会総会. 平成 30 年 4 月. 京都.

大村美波, 菊地栄次, 荻原広一郎, 箱崎恭平, 福本桂資郎, 宮崎保匡, 城武卓, 金井邦光, 原智, 長田浩彦, 大家基嗣. 術前化学療法施行後の筋層浸潤膀胱癌に対する術後補助化学療法を追加することの治療効果の検討. ポスター. 第 106 回 日本泌尿器科学会総会. 平成 30 年 4 月. 京都.

渡邊桂太郎, 菊地栄次, 荻原広一郎, 箱崎恭平, 福本桂資郎, 宮崎保匡, 城武卓, 金井邦光, 原智, 長田浩彦, 大家基嗣. 浸潤性膀胱癌に対する膀胱全摘除術を施行された pN 陽性症例における術後化学療法の必要性. ポスター. 第 106 回 日本泌尿器科学会総会. 平成 30 年 4 月. 京都.

梅田浩太, 原智, 勝井政博, 石岡桂, 服部盛也, 前田高宏. 当院における骨転移を有する去勢抵抗性前立腺癌に対するラジウム-223 の初期治療経験. ポスター. 第 106 回 日本泌尿器科学会総会. 平成 30 年 4 月. 京都.

近藤秀幸, 金子剛, 服部盛也, 原智, 城武卓, 小山政史. 高齢者に対する腹腔鏡下膀胱全摘術の



経験. ポスター. 第32回 日本泌尿器内視鏡学会総会. 平成30年11月. 仙台.

金子剛, 服部盛也, 近藤秀幸, 城武卓, 原智, 小山政史 上部尿路上皮癌に対する完全腹腔鏡下腎尿管全摘膀胱部分切除術の経験. ビデオ. 第32回 日本泌尿器内視鏡学会総会. 平成30年11月. 仙台.

勝井政博, 梅田浩太, 石岡桂, 安藤利行, 小澤佑, 木下水葵, 服部盛也, 前田高宏, 原智. 右尿管断裂後の尿管閉塞に対し用手補助腹腔鏡下回腸代用尿管造設術で内瘻化しえた1例. ビデオ. 第32回 日本泌尿器内視鏡学会総会. 平成30年11月. 仙台.

金子剛, 服部盛也, 原智. 腎疾患に対する単孔式腹腔鏡手術の経験. 口演. 第32回 日本泌尿器内視鏡学会総会. 平成30年11月. 仙台.

## (12) 産科・婦人科

玉川真澄, 春日義史, 鈴木毅, 金善恵, 樋口隆幸, 上野和典, 林保良, 染谷健一, 中田さくら. 日本人肥満妊婦における非妊時BMI別周産期予後ならびに妊娠中体重増加量に関する後方視的検討. 第70回日本産科婦人科学会学術講演会. 平成30年5月. 仙台市.

田中邦生, 春日義史, 玉川真澄, 鈴木毅, 金善恵, 樋口隆幸, 上野和典, 染谷健一, 林保良, 中田さくら. 筋腫分娩様に腔内に突出した子宮頸部筋腫合併妊娠の1例. 第135回関東連合産科婦人科学会学術集会. 平成30年6月. 東京.

吉村拓馬, 春日義史, 鈴木毅, 金善恵, 樋口隆幸, 上野和典, 林保良, 染谷健一, 中田さくら. 腔外脱出した巨大子宮頸部筋腫の一例. 第135回関東連合産科婦人科学会学術集会. 平成30年6月. 東京.

春日義史, 樋口隆幸, 王洪欣, 吉村拓馬, 大橋千絵, 眞木順子, 鈴木毅, 金善恵, 染谷健一, 中田さくら. 言語が異なり意思疎通が困難であったため異所性妊娠を疑った子宮内流産の1例. 第422回神奈川産科婦人科学会学術講演会. 平成30年7月. 横浜市.

大橋千絵, 春日義史, 王洪欣, 吉村拓馬, 眞木順子, 鈴木毅, 金善恵, 樋口隆幸, 染谷健一, 中田さくら. 頸管縫縮術を行うも中期流産に至ったびまん型子宮腺筋症合併妊娠の1例. 第422回神奈川産科婦人科学会学術講演会. 平成30年7月. 横浜市.

春日義史, 玉川真澄, 鈴木毅, 金善恵, 樋口隆幸, 上野和典. 当院で対応した特定妊婦の実態. 第54回日本周産期新生児医学会学術講演会. 平成30年7月. 東京.

春日義史, 王洪欣, 吉村拓馬, 大橋千絵, 眞木順子, 鈴木毅, 金善恵, 樋口隆幸, 染谷健一, 中田さくら. 本当に若年妊婦はやせていて、small-for-gestational-age発症率が高いのか?. 第7回日本DOHaD学会. 平成30年8月. 東京.

王洪欣, 眞木順子, 吉村拓馬, 大橋千絵, 鈴木毅, 春日義史, 金善恵, 樋口隆幸, 染谷健一, 中田さくら. 心不全が疑われ母体搬送された上室性頻拍合併妊娠の1例. 第41回日本母体胎児医学会. 平成30年8月. 東京.

春日義史, 王洪欣, 吉村拓馬, 眞木順子, 鈴木毅, 金善恵, 樋口隆幸, 染谷健一, 中田さくら. 日本人やせ妊婦では女兒においてSmall-for-gestational発症率が増加する. 第42回日本産科婦人科栄養・代謝研究会. 平成30年8月. 千葉市.

春日義史, 林保良, 王洪欣, 吉村拓馬, 大橋千絵, 眞木順子, 鈴木毅, 金善恵, 樋口隆幸, 染谷健一, 岩田壮吉, 中田さくら. 当院における子宮鏡手術検体の病理組織学的検討. 第423回神奈川産科婦人科学会学術講演会. 平成30年9月. 川崎市.

眞木順子, 林保良, 王洪欣, 吉村拓馬, 大橋千絵, 鈴木毅, 春日義史, 金善恵, 樋口隆幸, 染谷健

一、中田さくら．子宮鏡手術を契機に Kaufmann 療法を中止したところ自然妊娠に至った早発卵巣不全の一例．第 423 回神奈川産科婦人科学会学術講演会．平成 30 年 9 月．川崎市．

吉村拓馬，染谷健一，王洪欣，大橋千絵，眞木順子，鈴木毅，春日義史，金善恵，樋口隆幸，中田さくら．腹腔鏡下子宮筋腫核出術中に摘出した内膜組織より診断し得た，子宮内膜異型増殖症の 1 例．第 423 回神奈川産科婦人科学会学術講演会．平成 30 年 9 月．川崎市．

春日義史，林保良，王洪欣，吉村拓馬，大橋千絵，眞木順子，鈴木毅，金善恵，樋口隆幸，染谷健一，中田さくら．長期間留置された避妊リングに対して林式ポリープ鉗子を用いて外来切除可能であった 1 例．第 2 回日本子宮鏡研究会学術講演会．平成 30 年 10 月．東京．

眞木順子，林保良，王洪欣，吉村拓馬，大橋千絵，鈴木毅，春日義史，金善恵，樋口隆幸，染谷健一，中田さくら．完全中隔子宮に対して子宮鏡下中隔切除術を施行した一例．第 2 回日本子宮鏡研究会学術講演会．平成 30 年 10 月．東京．

王洪欣，林保良，春日義史，吉村拓馬，大橋千絵，眞木順子，鈴木毅，金善恵，樋口隆幸，染谷健一，中田さくら．子宮鏡下手術後残存筋腫に対して当院におけるワンステップ子宮鏡下筋腫核出術で完全摘出した 1 例．第 2 回日本子宮鏡研究会学術講演会．平成 30 年 10 月．東京．

吉村拓馬，樋口隆幸，王洪欣，大橋千絵，眞木順子，鈴木毅，春日義史，金善恵，染谷健一，中田さくら．仮性動脈瘤に対するコイル塞栓術後，子宮内腔に露出したコイルを子宮鏡下に確認した 1 例．第 2 回日本子宮鏡研究会学術講演会．平成 30 年 10 月．東京．

王洪欣，林保良，春日義史，吉村拓馬，大橋千絵，眞木順子，鈴木毅，金善恵，樋口隆幸，染谷健一，中田さくら．アッシャーマン症候群に対して子宮鏡手術施行後生児を得た一例．第 424 回神奈川産科婦人科学会学術講演会．平成 30 年 10 月．平塚市．

吉村拓馬，春日義史，王洪欣，大橋千絵，眞木順子，鈴木毅，金善恵，樋口隆幸，染谷健一，中田さくら．偶発的に診断した Perivascular epithelioid cell tumor の 1 例．第 136 回関東連合産科婦人科学会学術集会．平成 30 年 11 月．東京．

Maki J, Sato S, Sueoka K, Sato K, Senba H, Mizuguchi Y, Higuchi N, Tanaka M. New Strategies of preimplantation genetic haplotyping for clients with de novo mutation and those with no available DNA samples from family members. 第 70 回日本産科婦人科学会学術講演会．平成 30 年 5 月．仙台市．

染谷健一，王洪欣，吉村拓馬，大橋千絵，眞木順子，鈴木毅，春日義史，金善恵，樋口隆幸，林保良，中田さくら．異所性妊娠で卵管切除後に同側卵管間質部妊娠をきたした 1 例．第 58 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会．平成 30 年 8 月．島根県．

林保良．私のライフワークー子宮鏡とともに旅してー．第 58 回日本産科婦人科内視鏡学会杉本賞受賞記念講演．第 58 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会．平成 30 年 8 月．島根県．

玉川真澄，樋口隆幸，鈴木毅，春日義史，金善恵，林保良，上野和典，染谷健一，中田さくら．径 15cm 以上の大きな妊娠合併卵巣嚢腫に対する腹腔鏡下手術の経験．第 58 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会．平成 30 年 8 月．島根県．

Kasuga Y, Higuchi T, Wang H, Tamagawa M, Yoshimura T, Ohashi C, Maki J, Suzuki T, Someya K, Lin BL, Nakada S. Surgical and perinatal outcomes of the pregnant women underwent total laparoscopic cystectomy in our hospital. 20th Congress of the FAOPS. 平成 30 年 9 月．Manila, Philippine.

Lin BL. Resecting submucous myoma. シンポジウム. The 8th Congress of the Asia Pacific

initiative on reproduction. 平成30年4月. Taipei, Taiwan.

Lin BL. Difficult hysteroscopic myomectomy. シンポジウム. APAGE 2018 Regional Congress: Minimally Invasive Surgery in Reproductive Health - Challenges & Strategies. 平成30年4月. Singapore, Singapore.

Lin BL. Certification System of MIS in Japan. ワークショップ. 2018 APAGE Advanced Hysteroscopy Workshop & Certification. 平成30年8月. Lugang, Taiwan.

Lin BL. TCR Myomectomy & polypectomy. ワークショップ. 2018 APAGE Advanced Hysteroscopy Workshop & Certification. 平成30年8月. Lugang, Taiwan.

Lin BL. Strategy for Management of Intrauterine Disease. シンポジウム. 2018 International symposium on Obstetrics and Gynecology. 平成30年8月. 呼和浩特, Mongolia.

Lin BL. The role of Hysteroscopy for management of infertile patients. シンポジウム. 第十三届国际学术周生殖与妇科微创专场. 平成30年10月. Hangzhou, China.

Lin BL. Hysteroscopic enucleation with Lin dissecting loop and Lin myoma graspers. シンポジウム. The 19th APAGE in conjunction with The 7th National Meeting of Indonesian Gynecological Endoscopy Society. 平成30年11月. Surabaya, Indonesia.

松井友哉, 春日義史, 王洪欣, 吉村拓馬, 石垣順子, 鈴木毅, 金善恵, 樋口隆幸, 染谷健一, 中田さくら. 腰背部痛を主訴に来院した結核性胸膜炎合併妊娠の1例. 第425回神奈川産科婦人科学会学術講演会. 平成30年3月. 横浜市.

#### (13) 眼科

小澤紘子. 虹彩転移を初発として発見された原発性食道癌の一例. 学術展示. 第72回日本臨床眼科学会. 平成30年10月. 東京.

伊藤賀一. 造血幹細胞移植後の新規ドライアイ発症例に近視化を伴った3症例. ポスター発表. 第72回日本臨床眼科学会. 平成30年10月. 東京.

#### (14) 耳鼻咽喉科

Shin Saito, Hiroyuki Ozawa, Yori-hisa Imanishi, Mariko Sekimizu, Yoshihiro Watanabe, Fumihiro Ito, Yuichi Ikari, Nana Nakahara, Kaori Kameyama, and Kaoru Ogawa. Cox-2 expression is associated with chemoresistance through cancer stemness property in head and neck squamous cell carcinoma. 一般示説. AACR (American Association for Cancer Research) 2018 Annual Meeting. April 2018. Atlanta, USA.

松居祐樹 山田浩之 南隆二 此枝生恵 小川 郁. 当科における片側性副鼻腔疾患181例の検討—歯性上顎洞炎の診断を中心に—. 一般口演. 第119回日本耳鼻咽喉科学会学術講演会. 平成30年5月. 横浜市.

御子柴卓弥, 小澤宏之, 齋藤真, 猪狩雄一, 中原奈々, 伊藤文展, 渡部佳弘, 関水真理子, 今西順久, 小川郁. 中下咽頭癌に対する TPF 療法時の有害事象予測因子としての hematological inflammatory marker の有用性. 一般口演. 第119回日本耳鼻咽喉科学会学術講演会. 平成30年5月. 横浜市.

佐藤えみり, 今西順久, 佐藤陽一郎, 松居祐樹, 井口聖名. 下咽頭・声門上癌化学放射線療法施行症例におけ血液学的炎症および栄養指標による治療成績予測能の比較検討. 一般口演. 第73回慶浜耳鼻咽喉科研究会. 平成30年6月. 横浜市.

島貫茉莉江, 今西順久, 井口聖名, 佐藤えみり, 佐藤陽一郎, 栗林徹, 舟越和人, 黒岩信子. 頭頸部癌におけるシスプラチンによる急性腎障害の予測因子についての検討. 一般口演. 第42回日本頭頸部

癌学会、平成30年6月、東京。

佐藤えみり、今西順久、中原奈々、佐藤陽一郎、島貫茉莉江、井口聖名、重富征爾、栗林徹、舟越和人、黒岩信子。下咽頭癌喉頭癌化学放射線療法施行症例における血液学的炎症および栄養指標の予後予測能の比較検討。一般口演。第42回日本頭頸部癌学会。平成30年6月。東京。

佐藤陽一郎、今西順久、島貫茉莉江、佐藤えみり、井口聖名。内視鏡的切除を行った耳管咽頭口原発上咽頭粘表皮癌の一例。一般口演。第42回日本頭頸部癌学会。平成30年6月。東京。

斎藤真、小澤宏之、今西順久、関水真理子、渡部佳弘、伊藤文展、猪狩雄一、中原奈々、小川郁。頭頸部扁平上皮癌におけるCOX-2発現と癌幹細胞形質を介した化学療法抵抗性の関連の検討。一般口演。第42回日本頭頸部癌学会。平成30年6月。東京。

渡部佳弘、岡本康秀、池真理、竹林亜貴子、小澤宏之、今西順久、小川郁。画像強調内視鏡BLI/LCI, SPECTRAを使用した咽頭癌経口切除。一般口演。第80回耳鼻咽喉科臨床学会。平成30年6月。横浜市。

井口聖名、佐藤陽一郎、島貫茉莉江、佐藤えみり、今西順久。術後にHorner徴候を伴わずfirst bite syndromeを発症した交感神経鞘腫の1例。一般示説。第80回耳鼻咽喉科臨床学会。平成30年6月。横浜市。

渡部佳弘、今西順久、小澤宏之、岡本康秀、船越信介、菊池勇次、前田祐助、長谷部夏希、竹林亜貴子、小川郁。両側梨状陥凹同時多発例と両側披裂部に連続する広範囲進展例の下咽頭表在癌治療経験。一般口演。第19回頭頸部表在癌研究会。平成30年7月。横浜市。

佐藤陽一郎、戸田正博、今西順久、植田良、小澤宏之、佐藤えみり、松居祐樹、井口聖名。内視鏡下頭蓋底手術の手技を用い切除を行った上咽頭癌の一例。一般口演。第30回日本頭蓋底外科学会。平成30年7月。東京都。

佐藤陽一郎、井口聖名、松居祐樹、佐藤えみり、今西順久。最近経験した甲状腺未分化癌症例について。一般口演。第4回Thyroid Cancer Meet The Expert in Kanagawa。平成30年9月。横浜市。Yuichi Ikari, Hiroyuki Ozawa, Yori-hisa Imanishi, Mariko Sekimizu, Yoshihiro Watanabe, Fumihiro Ito, Nana Nakahara, Shin Saito, Kaori Kameyama, and Kaoru Ogawa. The functional and clinicopathological analysis of hypoxia inducible factor-1 $\alpha$  (HIF-1 $\alpha$ ) in head and neck squamous cell carcinoma. 一般示説。第77回日本癌学会学術総会。平成30年9月。大阪市。

野口勝、藤岡正人、粕谷健人、西山崇経、石川徹、細谷誠、鈴木成尚、堀明美、俣田かおり、薬師丸令子、大石直樹、神崎晶、矢部はる奈、今西順久、小川郁。高齢者の聴覚と暮らし方と健康に関する学術調査(第1報): 老人性難聴関連遺伝子多型の探索。一般口演。第63回日本聴覚医学会。平成30年10月。神戸市。

今西順久、佐藤陽一郎、佐藤えみり、松居祐樹、井口聖名、渡部佳弘、小澤宏之。シンポジウム「喉頭温存治療の失敗例に学ぶ」: 経口切除手術における機能温存失敗例 - 喉頭制御温存不成功要因の検討。シンポジウム。第11回喉頭機能温存治療研究会。平成30年10月。東京都。

渡部佳弘、今西順久、岡本康秀、池真理、竹林亜貴子、長谷部夏希、小澤宏之、小川郁。「経口的手術・内視鏡手術 私の工夫①」導入化学療法後の咽頭扁平上皮癌経口切除術。ワークショップ。第70回日本気管食道科学会。平成30年11月。東京都。

佐藤陽一郎、今西順久、佐藤えみり、松居祐樹、井口聖名。「気と食 基礎研究の最前線②」早期下咽頭喉頭癌放射線治療症例における治療前PET/CT SUVmaxを用いた予後予測能の検討。ワークショップ。第70回日本気管食道科学会。平成30年11月。東京都。

松居祐樹, 佐藤陽一郎, 井口聖名, 佐藤えみり, 今西順久. 鼻中隔原発巨大多形腺腫の一例. 一般口演. 日本耳鼻咽喉科学会神奈川県地方部会第185回学術講演会. 平成30年12月, 横浜市.

井口聖名, 今西順久, 松居祐樹, 佐藤えみり, 佐藤陽一郎. 中咽頭癌における血液学的炎症および栄養指標の転帰予測能の網羅的検討. 一般口演. 第74回慶浜耳鼻科研究会. 平成30年12月, 横浜市.

松居祐樹, 佐藤陽一郎, 井口聖名, 佐藤えみり, 今西順久. 一般口演. 内視鏡下切除を施行した鼻副鼻腔腫瘍症例の検討. 第16回慶應耳鼻咽喉科臨床懇話会. 平成31年1月, 東京都.

松居祐樹, 佐藤陽一郎, 井口聖名, 佐藤えみり, 今西順久. 内視鏡下切除を施行した鼻副鼻腔腫瘍症例の検討. 一般口演. 第16回慶應耳鼻咽喉科臨床懇話会. 平成30年1月, 東京都.

渡部佳弘, 岡本康秀, 池真理, 長谷部夏希, 竹林亜貴子, 今西順久, 小澤宏之, 小川郁. 下咽頭表在癌両側梨状陥凹同時多発例に対する二期的経口切除. 一般口演. 第29回頭頸部外科学会. 平成31年1月, 仙台市.

渡部佳弘, 岡本康秀, 池真理, 長谷部夏希, 竹林亜貴子, 今西順久, 小澤宏之, 小川郁. 下咽頭表在癌両側梨状陥凹同時多発例に対する二期的経口切除. 一般口演. 第29回頭頸部外科学会. 平成31年1月, 仙台市.

佐藤えみり, 今西順久, 中原奈々, 井口聖名, 松居祐樹, 佐藤陽一郎, 重富征爾, 栗林徹, 舟越和人. 下咽頭癌喉頭癌化学放射線療法施行症例におけるCONUT関連因子の治療成績予測能の検討. 一般口演. 第29回頭頸部外科学会. 平成31年1月, 仙台市.

井口聖名, 今西順久, 松居祐樹, 佐藤えみり, 佐藤陽一郎, 重富征爾, 島貫茉莉江, 栗林徹, 舟越和人. 中咽頭癌における血液学的炎症および栄養指標の予後予測能の検討. 第29回頭頸部外科学会. 平成31年1月, 仙台市.

重富征爾, 今西順久, 大塚邦憲, 坂本耕二, 藤井良一, 羽生昇, 富田俊樹, 小川郁. 頭頸部扁平上皮癌におけるFlt-4(VEGFR-3)の発現とVEGF-C/CNTN-1を介したautocrine mechanismの臨床的意義に関する検討. 一般口演. 第25回東大・慶應ジョイントカンファレンス. 平成31年2月, 東京都.

重富征爾, 今西順久, 大塚邦憲, 坂本耕二, 藤井良一, 羽生昇, 富田俊樹, 小川郁. 頭頸部扁平上皮癌細胞自身におけるFlt-4(VEGFR-3)の発現とVEGF-C/CNTN-1を介したautocrine mechanismの臨床的意義に関する検討. 招請講演. 第7回南関東頭頸部腫瘍懇話会. 平成31年3月, 東京都.

松居祐樹, 佐藤陽一郎, 井口聖名, 佐藤えみり, 今西順久. 頸部を横断した盲管銃創の一例. 一般口演. 日本耳鼻咽喉科学会神奈川県地方部会第186回学術講演会. 平成31年3月, 横浜市.

#### (15) 放射線診断科

塚田実郎, 井上政則, 櫻井亮佑, 御須学, 鳥飼秀幸, 伊東伸剛, 倉田忠宜, 屋代英樹, 中塚誠之, 陣崎雅弘, 岡田真広. 肝胆膵、胃術後出血に対するTAE後の遅発性コイル逸脱についての検討. 第54回日本医学放射線学会秋季臨床大会. 平成30年10月, 福岡.

倉田忠宜, 櫻井亮佑, 佐藤宏朗, 長谷川市郎, 緒方雄史, 成松芳明, 和多田晋. 腹部アンギーナに対し、外科的治療、IVRを併用した症例についての検討. 第504回東京アンギオ・IVR会. 平成31年2月, 東京.

櫻井亮佑, 緒方雄史, 倉田忠宜, 佐藤宏朗, 長谷川市郎, 成松芳明, 折笠英紀, 杉浦仁. 原発不明癌にFDG-PET/CTを施行した1例. 第36回川崎市医師会医学会. 平成31年2月, 川崎.

小切孝洋. 放射線治療ディナー講習会「当院のリニアックの品質管理」. 研究会. 平成30年度第2回神奈川放射線治療技術研究会. 平成30年10月, 伊勢原市

小切孝洋. PDD(Percentage Depth Dose:深部量百分率)について. 研究会. 第12回放射線治療多施設合同研究会Atto会. 平成30年12月. 横浜市.

(16) 麻酔科

杉山侑子, 安藤嘉門, 北嶋宏輝, 平畑枝里子, 細井卓司, 森田慶久. 抗甲状腺薬アレルギーがあり、甲状腺機能コントロール不良のバセドウ病患者に対する甲状腺全摘術の麻酔経験. 学会. 日本麻酔科学会関東甲信越・東京支部第58回合同学術集会. 平成30年9月. 東京.

山下友寛, 逢坂佳宗, 青木真理子, 平川雄亮, 瀬上和貴, 阪本浩平. 脳幹の一過性脳虚血発作(TIA)が経尿道的膀胱腫瘍切除術(TUR-BT)の術後心肺停止の原因として疑われた1例. 日本麻酔科学会関東甲信越・東京支部第58回合同学術集会. 平成30年9月. 東京.

逢坂佳宗. 神経ブロックハンズオンセミナー. 学会. 臨床モニター学会. 平成30年4月. 横浜.

逢坂佳宗. 気道神経POCUSハンズオン. 研究会. 第6回POCUS研究会. 平成31年1月. 東京.

逢坂佳宗. 今から始めるための超音波ガイド下ブロックの基本. 研究会. 第6回POCUS研究会. 平成31年1月. 東京.

(17) 救急科

田熊清継, 塩島裕樹, 土屋光正, 井上聡, 齋藤豊, 進藤健, 春成学, 三吉貴大, 白川和宏, 鳥海聡, 藤網隆太郎. 透析中の高齢者重症熱傷への治療戦略. 学会報告. 第46回日本救急医学会. 平成30年11月. 横浜.

田熊清継, 齋藤豊, 竹村成秀, 春成学, 金尾邦生, 植松敬子, 白川和宏, 三吉貴大, 宮寫和宏, 石田径子, 鳥海聡. 救急搬送された急性アルコール中毒患者1348例の合併症・併存症の検討. 学会報告. 第46回日本救急医学会. 平成30年11月. 横浜.

田熊清継, 春成学, 齋藤豊, 塩島裕樹, 進藤健, 竹村成秀, 金尾邦生, 植松敬子, 白川和宏, 宮寫和宏, 佐々木洋介. 救急車ダイバージョン川崎市と市立川崎病院における三次救急患者の応需状況の検討. 学会報告. 第46回日本救急医学会. 平成30年11月. 横浜.

田熊清継, 齋藤豊, 塩島裕樹, 進藤健, 竹村成秀, 金尾邦生, 植松敬子, 三吉貴大, 白川和宏, 宮寫和宏, 金子翔太郎. 応需時に合併症・併存症の情報がない急性アルコール中毒患者における合併症・併存症の検討. 学会報告. 第46回日本救急医学会. 平成30年11月. 横浜.

田熊清継, 進藤健, 齋藤豊, 塩島裕樹, 竹村成秀, 春成学, 金尾邦生, 白川和宏, 土屋光正, 石田径子, 藤田野々香. 自動車運転中の交通事故の誘因となる内因性疾患等の検討. 学会報告. 第46回日本救急医学会. 平成30年11月. 横浜.

田熊清継. 熱傷患者の死因となる感染症 JSBIによる熱傷ガイドラインと熱傷入院患者レジストリー. 教育講演. 第46回日本救急医学会. 平成30年11月. 横浜.

齋藤豊, 田熊清継, 塩島裕樹, 竹村成秀, 進藤健, 春成学, 金尾邦生, 植松敬子, 三吉貴大, 白川和宏, 宮寫和宏. 当院に搬送された刺創患者の検討. 学会報告. 第46回日本救急医学会. 平成30年11月. 横浜.

植松敬子, 白川和宏, 金尾邦生, 春成学, 進藤健, 竹村成秀, 塩島裕樹, 齋藤豊, 田熊清継. 当院における塗抹陽性肺結核患者の背景因子の検討. 学会報告. 第46回日本救急医学会. 平成30年11月. 横浜.

白川和宏, 三吉貴大, 植松敬子, 金尾邦生, 春成学, 竹村成秀, 進藤健, 塩島裕樹, 齋藤豊, 田熊清継. 川崎市における院外心肺停止患者に関する記述疫学研究. 学会報告. 第46回日本救急医学会. 平成30年11月. 横浜.

宮脇和宏, 三吉貴大, 植松敬子, 塩島裕樹, 金尾邦生, 春成学, 竹村成秀, 進藤健, 齋藤豊, 田熊清継. ERにおける研修医の直視下による気管挿管の不成功に関する因子の検討. 学会報告. 第46回日本救急医学会. 平成30年11月. 横浜.

石田径子, 三吉貴大, 植松敬子, 金尾邦生, 春成学, 進藤健, 竹村成秀, 塩島裕樹, 齋藤豊, 田熊清継. 第三者行為で搬送された症例の検討. 学会報告. 第46回日本救急医学会. 平成30年11月. 横浜.

塩島裕樹, 白川和宏, 井上聡, 金尾邦生, 齋藤豊, 田熊清継. 当院ERで挿入された胸腔ドレーンの検討「若手医師の挿入した胸腔ドレーンは迷入しやすいか?」. 学会報告. 第46回日本集中治療医学会. 平成31年3月. 京都.

田熊清継. 感染症学の視点から読み解く救急・外科関連領域のガイドライン熱傷患者に発生する致命的な感染症日本熱傷学会による熱傷ガイドラインと熱傷入院患者レジストリー. シンポジウム. 第67回日本感染症学会東日本地方会 第65回日本化学療法学会東日本支部総会. 平成30年10月. 東京.

井上聡, 塩島裕樹, 齋藤豊, 田熊清継. ガス壊疽の一例. 学会報告. 第69回日本救急医学会関東地方会. 平成31年2月. つくば市.

佐々木洋介, 齋藤豊, 田熊清継. 墜落外傷後に遅発性S状結腸穿孔を来した一例. 第69回日本救急医学会関東地方会. 平成31年2月. つくば市.

鳥海聡, 進藤健, 田熊清継, 和多田晋. 人工血管の非吻合部破綻により陰嚢内血腫をきたした1例. 学会報告. 第69回日本救急医学会関東地方会. 平成31年2月. つくば市.

藤網隆太郎, 齋藤豊, 田熊清継. 咳嗽を契機とした非外傷性腹直筋血腫の2例. 学会報告. 第69回日本救急医学会関東地方会. 平成31年2月. つくば市.

藤田野々香, 金尾邦生, 齋藤豊, 田熊清継. 長時間の心停止から蘇生し多臓器不全に陥ったが集学的治療により良好な神経学的予後がえられた一例. 学会報告. 第69回日本救急医学会関東地方会. 平成31年2月. つくば市.

高井美智子, 日隈励, 田熊清継, 松田潔, 岸泰宏, 平泰彦, 竹島正. 川崎市における自損救急搬送事例調査をもとにした自殺未遂者支援体制の検討. 学会報告. 第21回日本臨床救急医学会. 平成30年5月. 名古屋市.

春成学, 齋藤豊, 田熊清継. ターミナル駅から救急搬送された患者の検討. 学会報告. 第21回日本臨床救急医学会. 平成30年5月. 名古屋市.

田熊清継, 塩島裕樹, 土屋光正, 井上聡, 白川和宏, 三吉貴大, 金尾邦生, 春成学, 進藤健, 齋藤豊, 佐々木淳一. 高齢者重症熱傷患者に対する治療戦略:敗血症回避のための抗菌化学療法と早期手術の必要性. シンポジウム. 第31回日本外科感染症学会. 平成30年11月. 大阪市.

田熊清継. 熱傷感染管理:外科感染症管理医が知っておくべき最新の知見 Wound sepsisと抗感染症治療. 学会報告. 第31回日本外科感染症学会. 平成30年11月. 大阪市.

田熊清継. 高齢者重症熱傷患者に対する治療戦略-敗血症回避のための早期手術と抗菌化学療法の必要性-. 特別講演. 第27回日本熱傷学会関東地方会. 平成31年2月. さいたま市.

#### (18) 歯科口腔外科

木村萌美, 安居孝純, 矢島祥助, 軽部健史, 吉田俊一, 佐藤 仁, 小高利絵, 岩崎良太郎, 蒔生田整治, 鬼澤勝弘. 上顎に発生した顎骨壊死を伴うメトトレキサート関連リンパ増殖性疾患の1例. 口演. 第63回(公社)日本口腔外科学会総会・学術大会. 平成30年11月. 千葉県.

木村萌美, 安居孝純, 矢島祥助, 軽部健史, 佐藤 仁, 小高利絵, 岩崎良太郎, 苮生田整治, 白田慎, 木津英樹, 鬼澤勝弘. 小児上顎正中過剰埋伏歯の CT 画像評価による臨床的検討. 口演. 第 30 回一般社団法人日本小児口腔外科学会総会・学術大会. 平成 30 年 11 月. 川越市.

安居孝純, 木村萌美, 矢島祥助, 軽部健史, 佐藤 仁, 小高利絵, 岩崎良太郎, 苮生田整治, 河奈裕正, 鬼澤勝弘. インプラント埋入術後にオトガイ下膿瘍を生じた 1 例. 口演. 第 22 回顎顔面インプラント学会総会・学術大会. 平成 30 年 12 月. 東京.

(19) 検査科

横屋瀬里香. 神奈川県における HE 染色精度管理調査標本の RGB 解析値を利用した細胞モデルの有用性. 口演. 第 68 回日本医学検査学会. 平成 30 年 5 月. 下関市.

(20) 薬剤部

坪内理恵子, 小林岳, 大倉輝明, 宮崎美子. 処方箋の抗菌薬使用量の動向調査結果と地域における感染症動向の関連性. 一般演題. 第 34 回日本環境感染学会総会・学術集会. 平成 31 年 2 月. 神戸市.

(21) 看護部

142 ページ参照



## 7 講演会等

### (1)内科・総合内科

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
平成30年 5月	第61回ミート・ザ・ スペシャリスト	野崎博之	認知症と生活習慣病	院内
平成30年 10月18日	市民公開講座	田中希宇人	禁煙のススメ～慢性 閉塞性肺疾患（COPD） について～	院内
平成30年 11月20日	川崎市川崎区医師会	伯野大彦	心不全update～心不 全パンデミックを迎 えて～	院内
平成30年 11月20日	川崎市川崎区医師会	高橋賢至	当院での心不全治療。 利尿薬と塩分制限	院内
平成31年 2月25日	第9回 幸・川崎病 診Net	田口博章	関節リウマチの最新 治療ストラテジー	院内

### (2)小児科

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
平成30年 6月26日	第388回川崎 市小児科医会症 例検討会	西恵美里 金子絵名 内田絢子		院内
平成30年 9月11日		有安大典	第3回 TERM 講演『優 性遺伝性GH1 遺伝子異 常症発症機序の解明』	院内
平成30年 10月29日	川崎市内科医師 会	有安大典	川崎内分泌研究会『優 性遺伝性GH1 遺伝子異 常症発症機序の解明 ～遺伝子置換システ ムを用いた in vivo 解 析～』	院内
平成31年 2月21日	第394回川崎 市小児科医会症 例検討会	土橋隆俊 本田 堯 外山陽子		院内

## (3) 外科

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
平成30年 6月3日	練馬区医師会 第22回区民健康づくりセミナー	萬谷京子	乳がんの診断と治療	練馬区医師会館
平成31年 1月19日	日本医師会 経済産業省 平成30年度第5回 医師主導医療機器開発支援事業の支援セミナー	萬谷京子	手術の安全・質向上・標準化を目指して	川崎フロンティアビル

## (4) 整形外科

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
平成30年 4月21日	川崎市整形外科 医会	小柳貴裕	痛み、脱力から見た頸椎疾患の鑑別診断	院外
平成30年 11月30日	整形外科、リウマチセンター、患者総合サポートセンター	西脇正夫	リウマチ手の手術治療	院内
平成30年 12月11日	葛飾区医師会	西脇正夫	手肘の骨折治療	院外（葛飾区医師会館）
平成31年 2月9日	神奈川BRB研究会	小柳貴裕	医療統計処理の最近の動向と陥穽	院外
平成31年 2月15日	市民公開講座	上田誠司	健康寿命を延ばしましょう 第1部 ロコモティブシンドロームについて	院内

## (5) 精神科

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
平成30年 3月7日	緩和ケア研修会	齋藤寿昭	共感して・・・疲れていませんか？	院内

## (6) 泌尿器科

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
平成30年 6月22日	泌尿器科	原智 前田高宏	第6回泌尿器科病診連携の会『前立腺癌地域連携パスについて』 『診療ガイドラインを読み込む 一週間頻尿と血尿について』	院内
平成30年 8月20日	中央地区・大師地区・田島地区老人クラブ連合会	原智	健康づくり三地区合同講演会 『前立腺肥大症・前立腺癌について』	院外（市立労働会館）
平成31年 2月19日	第4回慶應内分泌アゴラセミナー	前田高宏	前立腺肥大症薬治療後の体内ステロイドの変化	院外（明治記念館）
平成31年 3月19日	川崎市医師会 第64回ミート・ザ・スペシャリスト	原智 前田高宏	『前立腺癌におけるホルモン療法について』 『daVinciでの治療成績と前立腺癌診療の今後について』	院内

## (7) 眼科

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
平成30年 6月14日	大塚製薬	伊藤賀一	無水晶体眼に眼内レンズを二次挿入した症例	院外
平成31年 3月15日	アルコンフォーマ	堀内直樹	当院における光線力学療法の実状	院外

## (8) リハビリテーション科

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
平成30年 7月28日	リハビリテーション医療懇話会	佐藤直人 阿部玲音ほか	当院における循環器疾患に対する作業療法士の取り組み	院外（慶応大学信濃町キャンパス）
平成30年	川崎市整形外科	阿部玲音	嚥下障害って知って	院外（川崎市

10月28日	医会 健康スポーツ医部会		いますか？ ～いつまでも口から 食べるために～	医師会会館)
平成30年 11月12日	褥瘡委員会	橋本祥太郎	”症例から考える ポジショニングの基 本	院内
平成30年 12月11日	看護教育委員会	野田剛	看護師が行う早期離 床のためのリハビリ テーション～地域へ 戻るための第一歩～	院内
平成31年 1月22日	病棟リハビリテ ーション拡充 プロジェクトチ ーム研修会	小島巖 中村優太	早期離床のメリット、 トランスファーの実 践	院内
平成31年 2月15日	第6回市民公開講 座	野田剛	実践！運動習慣をつ けましょう	院内
平成31年 3月27日	がん患者会サポ ート部会	佐藤直人	がんサロン ミニレ クチャー 運動習慣 を取り入れるための 3つのポイント	院内
平成31年 2月～3月の複 数日	病棟リハビリテ ーション拡充 プロジェクトチ ーム研修会	中村優太	トランスファーの基 本と実践	院内

(9) 放射線診断科

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
平成30年 8月10日	市民公開講座	倉田忠宜 緒方雄史	病気を見つける！画 像診断のお話 第1部：X線・CT・MRI を中心に 第2部：PET-CTのお話 ～がんを診る～	院内
平成30年 9月6日	放射線診断科	橋本 順（東海大学）	日常診療における核 医学の利用と最近の 話題（PET-CTを含む）	院内
平成30年 9月6日	放射線診断科	小野欽也	PET-CTの稼働状況	院内

平成 30 年 11 月 22 日	放射線診断科 井田病院との共 催	緒方雄史	FDG-PET の基礎と保険 適応について	井田病院
平成 30 年 11 月 22 日	放射線診断科 井田病院との共 催	歌代怜奈	PET-CT 検査の依頼方 法について	井田病院
平成 31 年 1 月 21 日	神奈川県健康医 療局保険人材課	三宅博之	平成 30 年度神奈川県 診療放射線技術講習 会「今さら聞けない装 置管理～一般撮影装 置～」	院外
平成 31 年 2 月 25 日	第 9 回幸・川崎病 診 Net	橋本正弘 (慶應義塾大学)	人工知能で変わるこ と変わらないこと 放射線科を中心に	院内

(10) 麻酔科

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
平成 30 年 4 月 20 日	外科病棟	逢坂佳宗	外科病棟勉強会	院内
平成 30 年 4 月 28 日	東京都立 小児病院	逢坂佳宗	末梢神経ブロックハ ンズオンセミナー	院外
平成 30 年 5 月 18 日	GE ヘルスケアジ ャパン	逢坂佳宗	ブース内ハンズオン セミナー	院外
平成 30 年 6 月 16 日	筑波大学	逢坂佳宗	末梢神経ブロックハ ンズオンセミナー	院外 (筑波大学)
平成 30 年 9 月 22 日	日本大学	逢坂佳宗	末梢神経ブロックハ ンズオンセミナー	院外
平成 30 年 9 月 29 日	東海大学	逢坂佳宗	末梢神経ブロックハ ンズオンセミナー	院外 (東海大学)
平成 30 年 12 月 15 日	藤田医科大学	逢坂佳宗	第 2 回藤田医科大学 PNB セミナー	院外 (藤田医 科大学)
平成 31 年 2 月 23 日	北里大学 関東労災病院	逢坂佳宗	末梢神経ブロックハ ンズオンセミナー	院外 (北里研 究所病院)
平成 31 年 2 月 25 日	埼玉メディカル センター・さいた ま市立病院	逢坂佳宗	浦和地区神経ブロッ クセミナー	院外
平成 31 年 2 月 9 日	慶應義塾大学	逢坂佳宗	慶應義塾大学 PNB セミ ナー	院外 (慶應義 塾大学病院)

## (11) 歯科口腔外科

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
平成30年 6月22日	川崎市歯科医師 会	鬼澤勝弘	第28回川崎病院症例 検討会 「日常臨床の こんなときどうする」	院外(川崎市 歯科医師会 館)
平成30年 7月14日	川崎市歯科医師 会	鬼澤勝弘	川崎市施設基準講習 会1～3	院外(川崎市 歯科医師会 館)
平成30年 9月20日	NST部会	安居孝純	口腔ケアの目的と方 法	院内
平成30年 9月21日	川崎市歯科医師 会	鬼澤勝弘	第29回川崎病院症例 検討会 「上顎洞のあ れこれ」	院外(川崎市 歯科医師会 館)
平成30年 11月18日	川崎市歯科医師 会	鬼澤勝弘	川崎市口腔癌検診	中原歯科保 健センター

## (12) 検査科

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
平成30年7月	一般社団法人神 奈川県臨床検査 技師会	三津田太郎	輸血検査における問 題解決の方法	横浜市立大 学

## (13) 救急科

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
平成30年 4月13日	救急科	齋藤豊、白川和宏、 宮嶋和宏他	ICLS	院内
平成30年 5月18日	院内救急部会	齋藤豊、白川和宏、 宮嶋和宏他	BLS勉強会	院内
平成30年 5月19日	日本熱傷学会 川崎病院救急科	田熊清継他	ABLS	院内
平成30年 11月4日	救急科	齋藤豊	JPTEC	院内
平成31年 2月10日	院内救急部会	齋藤豊、白川和宏、 宮嶋和宏他	ICLS	院内
平成31年 3月17日	日本熱傷学会	田熊清継	第30回PBEC in 東海	院外(名古屋 海南病院)

平成 31 年 3 月 30 日	日本熱傷学会	田熊清継	第 30 回 PBEC in 別府	院外 (別府医療センター)
---------------------	--------	------	-------------------	---------------

(14) 食養科

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
平成 30 年 5 月 ～平成 31 年 2 月	NST 部会	花田亮太、安居孝純、 阿部玲音、杉山遙、井 上彰大、本田小百合、 古瀬美穂、牛込志乃、 廣瀬麻未、小笠原美穂	NST 勉強会 (計 9 回実 施)	院内
平成 30 年 9 月 8 日	糖尿病診療連携 委員会	津村和夫、畠山みり、 高橋一子	糖尿病市民公開セミ ナー(講演と体験)	院内
平成 30 年 11 月 12 日	褥瘡対策委員会	中山果穂	褥瘡勉強会	院内
平成 31 年 1 月 10 日	緩和ケア委員会	長澤恵梨子	緩和ケアスキルアッ プ研修	院内
平成 31 年 2 月 15 日	明日からの実践 に役立つ川崎市 糖尿病セミナー	太田博子	連携に必要な糖尿病 栄養指導の基礎知識	東海道かわ さき宿交流 館

(15) 看護部

152 ページ参照

(16) 薬剤部

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
平成 30 年 5 月 23 日	リハビリテーシ ョン科	井上彰大	リハビリと栄養	院内
平成 30 年 6 月 12 日	看護部	井上彰大	目薬について	院内
平成 30 年 8 月 16 日	NST 部会	井上彰大	CONUT 変法活用ガイド ～経静脈栄養編～	院内
平成 30 年 11 月 12 日	褥瘡対策委員会	渡部絵梨可	褥瘡学習会	院内
平成 30 年 11 月 21 日	看護部教育委員 会	橋本春乃	IVナースのためのフ ォローアップ研修	院内
平成 30 年 11 月 27 日	看護部	井上彰大	輸液について	院内

平成 30 年 12 月 14 日	医療安全管理室	井上彰大	安全な栄養管理のた めの知識について	院内
平成 30 年 12 月 14 日	感染対策室	小林綾	薬剤耐性と抗菌薬適 正使用	院内

## 8 その他

### (1) 呼吸器内科

(医療情報サイト) 田中希宇人. 免疫チェックポイント阻害薬+化学療法の併用をどのように選択すべきか. 医療情報サイト「Oncology Tribune」 特集「肺癌診療ガイドライン 2018年版」を読み解く. 平成31年3月.

### (2) 整形外科

(マスコミ) 中道憲明. 紙上診察室 肩胛板断裂. 東京新聞, 中日新聞. 平成30年6月.

### (3) 歯科口腔外科

(マスコミ) 鬼澤勝弘. 口腔外科での入院の実際 看護師に聞く. FMかわさき. 平成30年4月.

(マスコミ) 鬼澤勝弘. 親知らずについて. FMかわさき. 平成30年5月.

(マスコミ) 鬼澤勝弘. 親知らずの抜歯について. FMかわさき. 平成30年6月.

(マスコミ) 鬼澤勝弘. 嚢胞について. FMかわさき. 平成30年7月.

(マスコミ) 鬼澤勝弘. 嚢胞について. FMかわさき. 平成30年8月.

(マスコミ) 鬼澤勝弘. 歯科インプラントについて. FMかわさき. 平成30年9月.

(マスコミ) 鬼澤勝弘. 歯科インプラントについて. FMかわさき. 平成30年10月.

(マスコミ) 鬼澤勝弘. 歯並び. FMかわさき. 平成30年11月.

(マスコミ) 鬼澤勝弘. 歯科矯正. FMかわさき. 平成30年12月.

(マスコミ) 安居孝純. 歯科矯正のための手術とは?. FMかわさき. 平成31年1月.

(マスコミ) 安居孝純. 虫歯の痛みは怖いぞ. FMかわさき. 平成31年2月.

(マスコミ) 安居孝純. 歯を残すための手術. FMかわさき. 平成31年3月.

## 9 市民対象イベント (当院主催)

### (1) 市民公開講座

実施日	講師	演題	開催場所	参加者数
平成30年 4月20日	相浦 浩一 大河 寿子	すい臓がんの危険なサイン ～診断・治療の最新事情～	院内	158名
平成30年 6月20日	和多田 晋 久野 昭子	手術って実際どんな感じ? ～医療機器の進歩と譲れない 外科医の技術～	院内	79名
平成30年 8月10日	倉田 忠宜 緒方 雄史	病気を見つける! ～画像診断のお話～	院内	128名
平成30年 9月8日	津村 和大 ほか	糖尿病市民公開セミナー 「自分の身体を知る！」	院内	70名



実施日	講師	演題	開催場所	参加者数
平成30年 10月18日	田中 希宇人 安部 さやか	肺を守る 禁煙のススメ～慢性閉塞性肺 疾患 (COPD)について～	院内	95名
平成30年 12月17日	李 慧崇 太田 博子	動脈硬化の予防 心臓の動脈硬化について～虚 血性心疾患～	院内	110名
平成31年 2月15日	①上田 誠司 ②野田 剛	健康寿命を延ばしましょう！ ～ロコモティブシンドローム について～	院内	96名

(2) 看護の日イベント

実施日	内容	開催場所	参加者数
平成30年 5月11日	・ A E D講習会 ・ 健康相談 ・ 栄養相談 ・ お薬相談	院内	51名

(3) 院内コンサート

実施日	出演者	内容	開催場所
平成31年 1月8日	洗足学園音楽大学生	金管五重奏 (新春コンサート)	院内



## 編 集 後 記

平成30年度は、診療報酬の改定とともに始まり、6月には当院においては5年ぶりとなる厚生労働省関東厚生局による適時調査を受けました。他病院では厳しい指摘を受ける中、いくつかのご注意をいただきましたが、職員一丸となって無事対応することができました。引き続き、適正な診療報酬請求等に努めてまいります。

また、川崎・井田両病院の積極的な経営改善の取組みにより、平成30年度川崎市病院事業会計は7年ぶりに黒字となりました。これも病院職員の理解と協力の成果だと思います。

地域の拠点病院として、市民の皆様の期待に応え、地域の手本となる病院運営となりますよう、職員一同、一層の努力を重ねてまいります。

編集にあたり、忙しい日常の診療の合間を縫って原稿作成をお引き受けいただきました各診療科・部門の責任者と執筆者の皆様に深く感謝申し上げます。

事務局長 林 徳厚

川崎市立川崎病院年報

第54号（平成30年度版）

令和元年12月27日発行

編集・発行 川崎市立川崎病院

〒210-0013 川崎市川崎区新川通12番1号

電 話 044 (233) 5521(代)

F A X 044 (245) 9600

川崎病院ホームページ

( <http://www.city.kawasaki.jp/32/cmsfiles/contents/0000037/37856/kawasaki/index.> )

印 刷 所 株式会社 エイシン川崎